

滝川駅周辺地区再生整備基本計画（原案）

令和 7 年 2 月

滝 川 市

目 次

第 1 章 基本計画の概要	1
1 - 1 目的	1
1 - 2 基本構想における整理事項	1
1 - 3 計画策定に向けた検討体制	4
第 2 章 整備計画	7
2 - 1 再生拠点等の整備コンセプト	7
2 - 2 再生拠点等における機能構成と配置	8
2 - 3 (仮称) 駅前交流施設・(仮称) 駅前野外交流広場	11
2 - 4 (仮称) 駅前市民駐車場	14
2 - 5 (仮称) 交流広場	14
2 - 6 (仮称) まちなか自由空間	14
第 3 章 事業計画	15
3 - 1 民間事業者の意向把握	15
3 - 2 事業手法	16
3 - 3 概算事業費	18
第 4 章 管理運営方針	19
4 - 1 基本的な方針	19
4 - 2 運営事業・維持管理方針	20
4 - 3 運営体制方針	21
4 - 4 運営費・維持管理費に関する方針	22
第 5 章 事業スケジュール	23
参考資料 策定経過資料	24
資料 1 市民ワークショップ「居場所づくり会議」	24
資料 2 団体ヒアリング	32
資料 3 民間活力導入可能性調査（民間事業者プレヒアリング）	34
資料 4 民間活力導入可能性調査（公募型サウンディング調査）	36
資料 5 Web アンケート	38

第1章 基本計画の概要

1-1 目的

本市では、令和5年度よりスタートした「滝川市総合計画（2023-2032）」及び「滝川市立地適正化計画（令和5年3月）」において、滝川駅周辺地区を新たな都市機能の導入や賑わいが期待される重要な地区として位置付け、新たな「滝川の顔」として再生するべく、滝川駅周辺整備事業に着手するとともに、旧スマイルビルを再生の拠点として整備するため、令和5年12月に全ての所有権を取得しました。

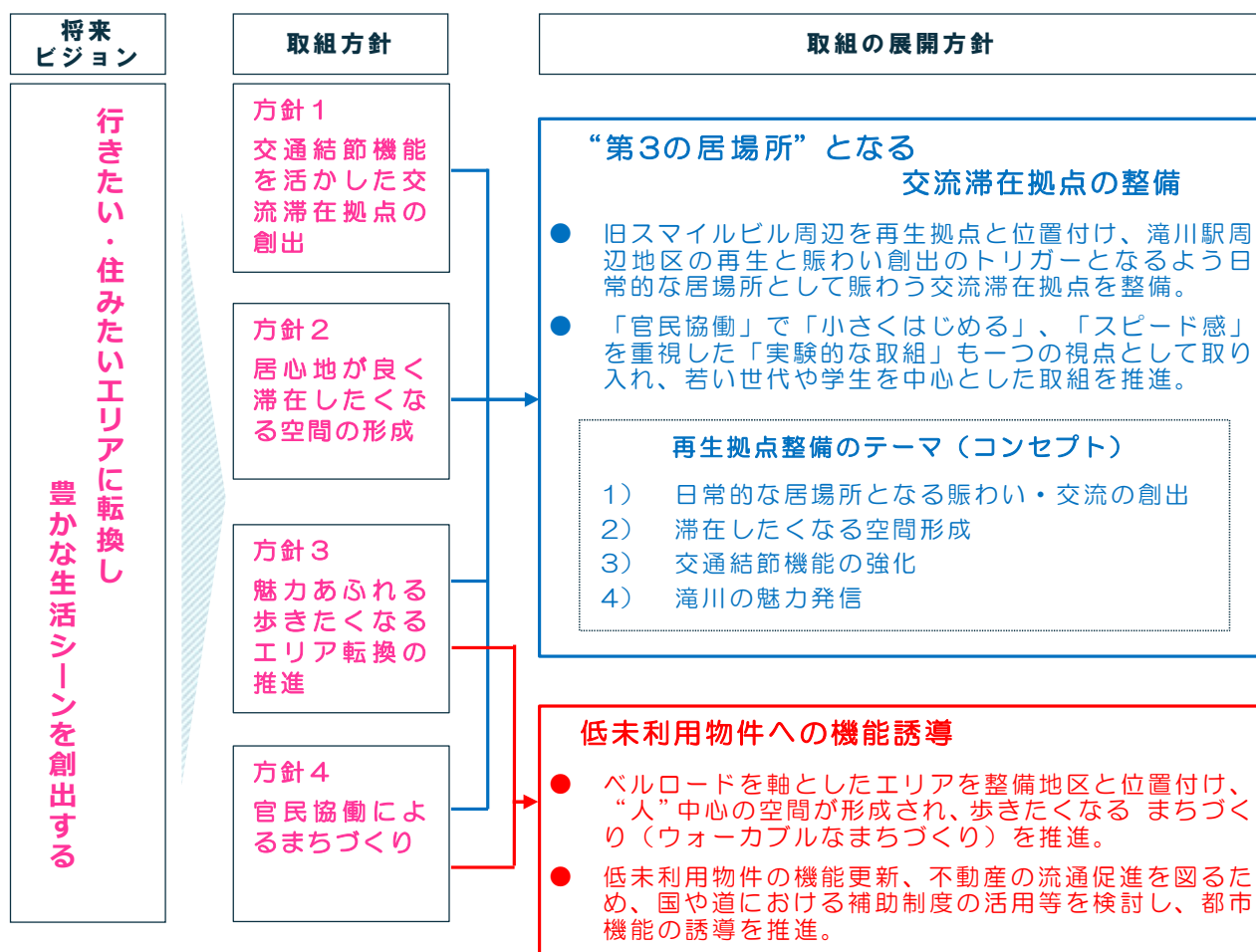
こうした状況を踏まえ、魅力ある都市拠点の形成を目指し、滝川駅周辺地区における将来ビジョン、実現するための整備方針を定めた「滝川駅周辺地区再生整備基本構想（以下、基本構想という。）」を令和6年3月に策定したところです。

本基本計画については、基本構想を踏まえ、具体的に整備する機能や規模、配置、事業手法、概算事業費等を検討し、基本設計の前提となる条件を整理します。

1-2 基本構想における整理事項

（1）将来ビジョンと取組の展開方針

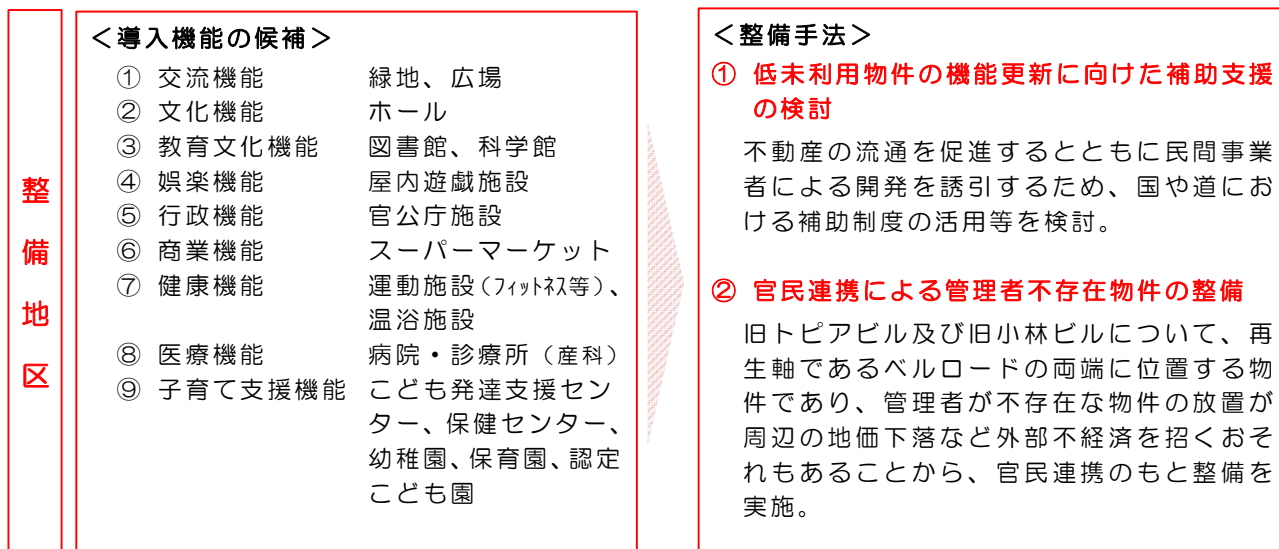
栄町地区のうち、都市機能誘導区域に該当するエリアを「滝川駅周辺地区」と位置付け、滝川駅周辺地区を取り巻く現状・課題を踏まえて、将来ビジョンと実現するための取組方針及び展開方針を設定しました。

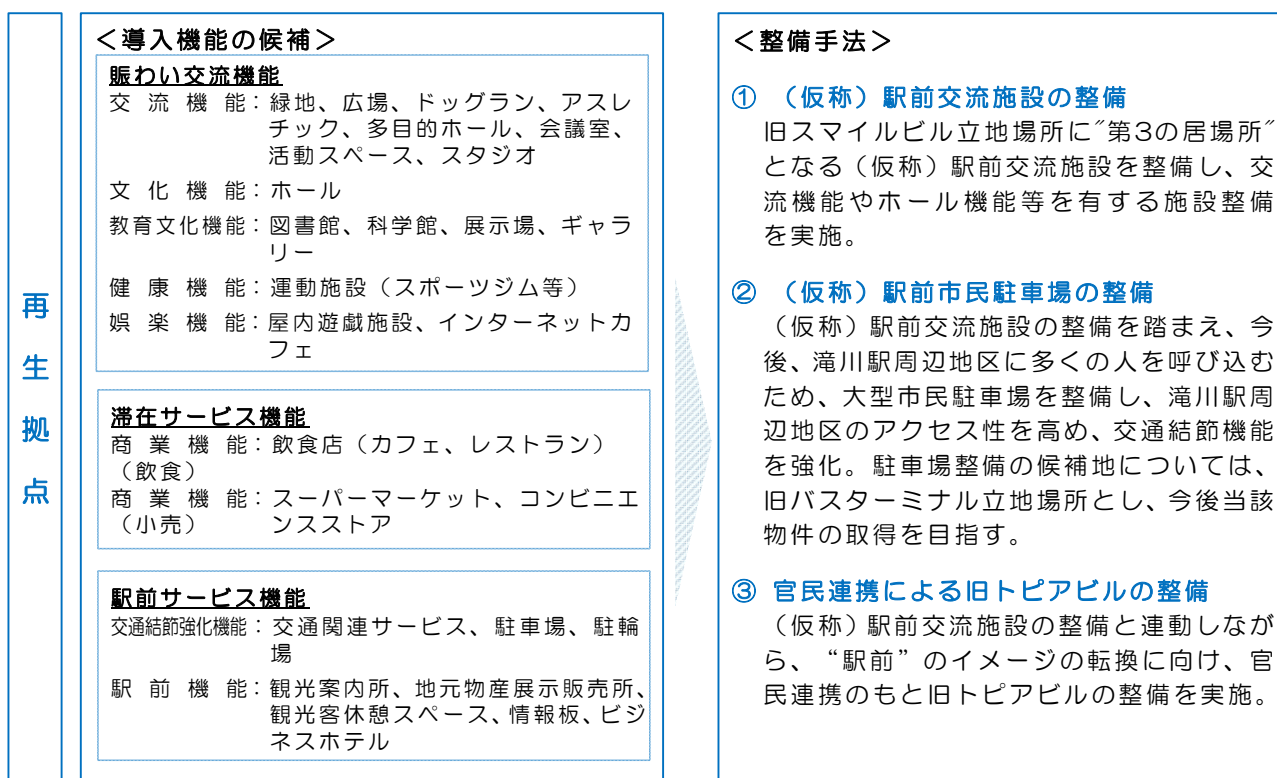


将来ビジョンの実現に向けた取組方針を推進するため、「整備地区」、「再生拠点」を設定し、それぞれ導入機能の候補と整備手法を整理しました。

滝川駅周辺地区の背骨となるベルロードを地区の骨格となる空間の軸（再生軸）に位置付け、再生軸を中心とした整備を進めるため、ベルロードに面した街区を整備地区とする。

玄関口でもある“駅前”のイメージを大きく転換することが重要であることから、旧スマイルビル周辺を再生拠点とする。

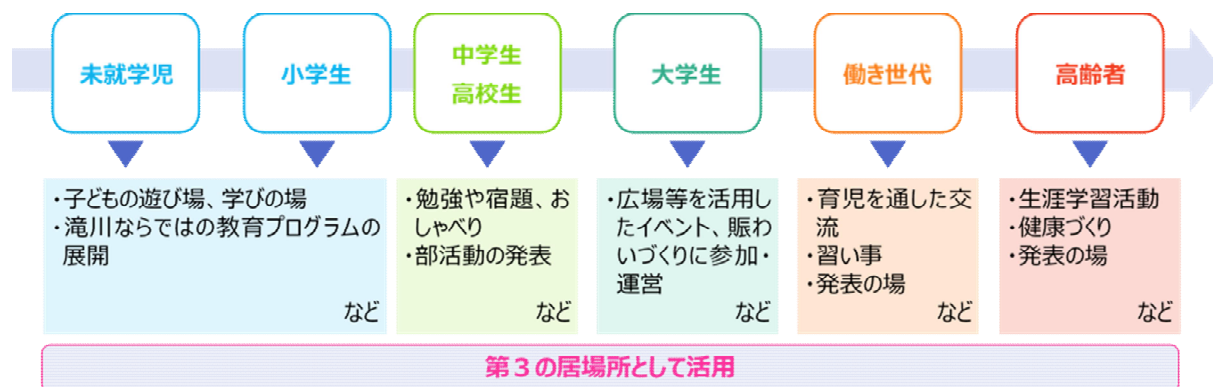




【各世代の“第3の居場所”となる使い方のイメージ】

（仮称）駅前交流施設が各世代にとって「第3の居場所」となるためには、施設の運営は重要なポイントとなります。

そのため、行政・市民・民間等が連携しながら、施設の運営方法の工夫を検討し、各世代にとって日常の居場所となり、「行きたくなる」魅力を持った施設を目指すこととしました。



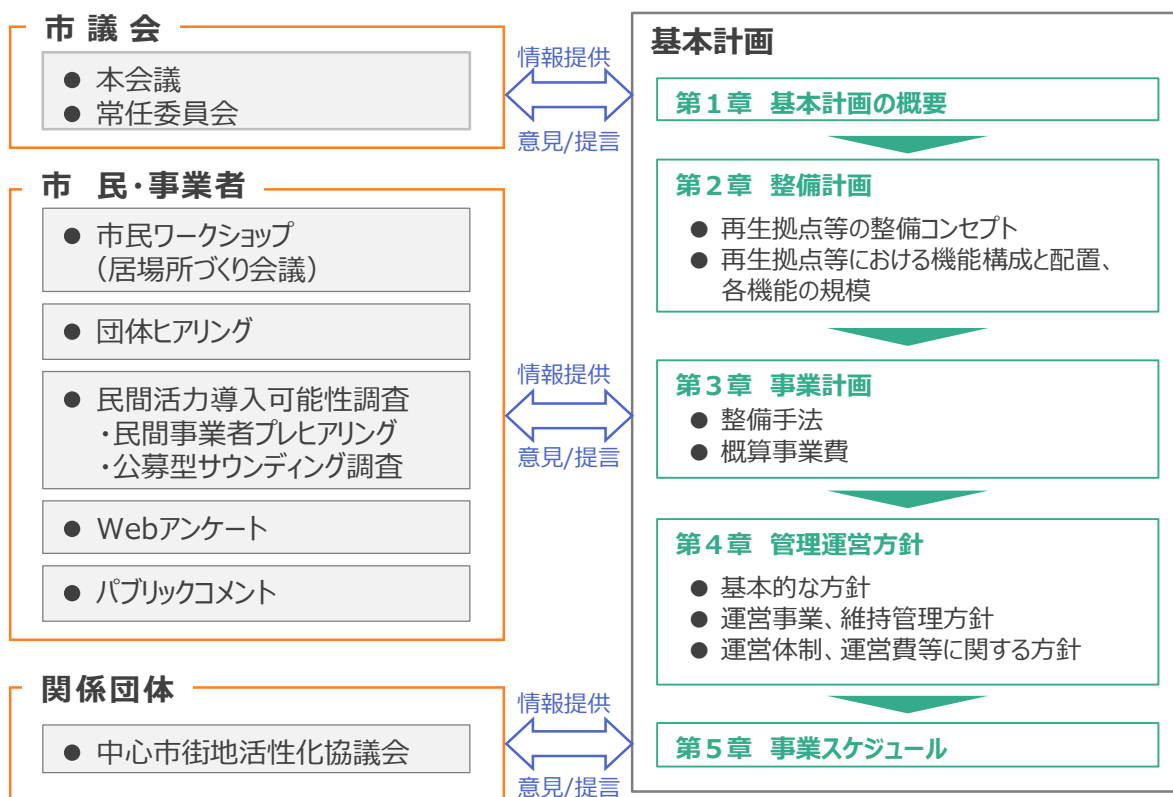
【（仮称）駅前交流施設の新築整備】

（仮称）駅前交流施設の整備については、滝川駅周辺地区における将来ビジョンの達成に向け、“駅前”のイメージを大きく転換し、賑わい創出のトリガーとなるよう実施するものであることから、目的やコンセプトにふさわしく、また、将来に負担を先送りすることなく、身の丈にあった整備が必要と整理しました。

こうした状況を踏まえ、（仮称）駅前交流施設については、施設整備による効果を高めるためにも、「新築」によって整備を実施することとしました。

1-3 計画策定に向けた検討体制

本基本計画の策定にあたっては、市民ワークショップや団体ヒアリング、web アンケートのほか、滝川市中心市街地活性化協議会との意見交換や施設の管理運営等を実施する民間事業者とのヒアリング結果を踏まえ、検討を進めることとしました。



(1) 市民ワークショップ「居場所づくり会議」

幅広い世代の市民ニーズや意見を把握するため、次のとおり公募型のワークショップを開催しました。

	日時・場所 / 内 容
第1回	日時：令和6年6月13日（木）18:00～20:30 場所：滝川市民交流プラザ
	テーマ：「コンセプト」を共有する ～構想を知る！駅前を考える～ 【講演】 一般社団法人新渡戸遠友リビングラボ理事長 小篠隆生 氏 『多様な参画による居場所の復権を目指す再開発は可能か「まちの居場所づくりと再開発」』 【グループディスカッション】 コンセプトをふまえて滝川の駅周辺地区をどのような場所にしていきたい？
第2回	日時：令和6年6月27日（木）18:00～20:00 場所：滝川市民交流プラザ

	日時・場所 / 内 容
	テーマ：（仮称）駅前交流施設の機能を考える ～施設の具体的なイメージについて みんなでアイデアを出してみよう！～ 【グループディスカッション】 テーマごとに『駅前に創る』ことを活かして、ふさわしい機能や具体的な施設イメージを深掘りしよう
第3回	日時：令和6年8月22日（木）18:00～20:00 場所：滝川市民交流プラザ テーマ：「（仮称）駅前交流施設の活用イメージを考える」 ～各世代ごとの具体的な使い方は？～ 【グループディスカッション】 （仮称）駅前交流施設の各世代の具体的な使い方とそれを実現するための機能の関係性について考えよう！
第4回	日時：令和6年9月25日（水）18:00～20:00 場所：滝川市民交流プラザ テーマ：「（仮称）駅前交流施設の企画・運営方法を考える」 ～より良い施設にするためにはどのように 企画・運営をしていったらよいだろう？～ 【グループディスカッション】 （仮称）駅前交流施設が「私たちの居場所」として、常に賑わいや交流が生まれるために、どのような工夫・企画があると良いか？

（２）団体ヒアリング

若い世代による意見のほか、駅周辺地区再生整備の可能性に対する意見や市内経済の動向等を把握するため、駅周辺地区で活動する団体や商業者、市内青年経済人、学生等との意見交換を実施しました。

実施時期	令和6年3月～令和6年8月	
実施方法	対面ヒアリング	
対象団体	國學院大學北海道短期大学部 滝川西高等学校 滝川金融協会 滝川駅前商店街振興組合 滝川商工会議所政策研究会	滝川商工会議所青年部 滝川市内小中学校 PTA 役員 滝川消費者協会 國學院大學観光まちづくり学部 市内各高校生

（３）民間活力導入可能性調査

① 民間事業者プレヒアリング

公募型サウンディング調査の実施に向け、駅周辺地区再生整備に対する関心度や施設整備に関する意見等の基礎情報を把握するため、ホールや子ども向け施設の運営実績がある民間事業者にヒアリングを実施しました。

調査時期	令和 6 年 5 月 9 日（木）～令和 6 年 5 月 21 日（火）
調査方法	対面調査
対象事業者	6 社（ホール運営 4 社、子ども向け施設運営 1 社、イベント企画 1 社）

② 公募型サウンディング調査

民間事業者の参加意向と事業条件等を把握するため、公募型サウンディング調査を実施しました。

調査時期	令和 6 年 9 月 2 日（月）～令和 6 年 9 月 30 日（月）
調査方法	紙面調査
対象事業者	12 社（建築設計 2 社、内装設計・施工 2 社、建設 2 社、運営 2 社、統括管理等 3 社、まちづくり 1 社）

（４）Web アンケート

幅広く意見・アイデアを募集するため、web システムを活用したアンケートを実施しました。

実施時期	令和 6 年 9 月 9 日（月）～令和 6 年 10 月 11 日（金）
意見数	106 件

第2章 整備計画

2-1 再生拠点等の整備コンセプト

旧スマイルビル周辺及び旧小林ビル（以下、再生拠点等という。）の整備にあたっては、基本構想が掲げるビジョンや様々な意見を踏まえると、今後駅周辺地区において、誰もが気軽に集い、多様な活動や交流が展開されることによって賑わいと魅力が生まれていくことが重要と考えます。

以上を踏まえ、基本構想で定めた取組の展開方針や再生拠点整備のテーマの実現に向け、再生拠点等の整備コンセプトを次のとおり整理します。

基本構想

将来ビジョン と 取組方針

駅
周
辺
地
区

行きたい・住みたいエリアに転換し 豊かな生活シーンを創出する

次世代を担う子ども・若者の笑顔があふれる魅力的な"まちなか"

方針1 交通結節機能を活かした交流滞在拠点の創出
方針2 居心地が良く滞在したくなる空間の形成

方針3 魅力あふれる歩きたくなるエリア転換の推進
方針4 官民協働によるまちづくり

取組の展開方針

駅
周
辺
地
区

再
生
拠
点

整
備
地
区

① “第3の居場所”となる交流滞在拠点の整備

滝川駅周辺地区の再生と賑わい創出のトリガーとなるよう日常的な居場所として賑わう交流滞在拠点を整備。

② 低未利用物件への機能誘導

ベルロードを軸としたエリアを整備地区と位置付け、“人”中心の空間が形成され、歩きたくなるまちづくり（ウォーカブルなまちづくり）を推進。

再
生
拠
点
整
備
の
テ
ー
マ

- ① 日常的な居場所となる賑わい・交流の創出
- ② 滞在したくなる空間形成
- ③ 交通結節機能の強化
- ④ 滝川の魅力発信

再生拠点等の整備コンセプト

① “私たちの居場所”づくり

- 学生による勉強やおしゃべり、親子同士の交流のほか、公共交通機関の待合やちょっとした息抜きにも利用できる居心地の良い空間をつくり、賑わいの創出を目指します。
- 滝川に培われてきた多様な市民活動やイベント、フェスティバルなどを開催できる場をつくるとともに、その場にいる人々をつなぎ、多世代による交流の創出を目指します。

いつも誰かと
“集まる”

その場所で
“ゆるくつながる”

体験して
“学ぶ・楽しむ”

② 新たな“滝川の顔”づくり

- 誰もがチャレンジ、活躍できる場をつくり、魅力の創出を目指します。
- 滝川の歴史や文化、観光資源など、まちの魅力を発信し、“駅前”のイメージ転換を目指します。

魅力づくりに
“挑む”

まちの魅力を
“感じる”

2-2 再生拠点等における機能構成と配置

(1) 導入機能の構成

▼ 旧スマイルビル周辺に導入する機能

導入機能の候補		具体的な施設名称	基本構想	居場所づくり会議	団体ヒアリング
賑わい交流機能	交流機能	イベントスペース	○	○	—
		広場・中庭	○	○	○
		フリースペース	○	○	○
		交流ロビー	○	○	○
		会議室	○	○	○
		スタジオ	○	○	—
	文化機能	ホール	○	○	—
	教育文化機能	ギャラリー	○	○	—
		図書館・図書スペース	○	○	—
		子ども科学館	○	○	—
	健康機能	スポーツジム	○	—	—
	娯楽機能	子どもの遊び場(キッズスペース)	○	○	○
		カラオケ	—	○	—
		スケボーパーク	—	○	—
		本屋	—	○	—
		ショップ、工具店	—	○	—
		模型店・服	—	○	—
		映画館	—	○	—
		eスポーツ	—	○	—
		ゲームセンター	—	○	—
		インターネットカフェ	○	○	—
		ボウリング場	—	○	—
		テーマパーク	—	○	○
		複合商業施設	—	○	○
		サウナ施設	—	○	—
滞在サービス機能	商業機能(飲食)	カフェ	○	○	○
		子ども地域食堂	—	○	—
		飲食店	○	○	—
		立ち飲みスペース	—	○	—
	商業機能(小売)	コンビニ	○	○	○
駅前サービス機能	交通結節強化機能	公共交通待合場所	—	—	○
	駅前機能	駐車場	○	○	○
		観光案内所	○	○	—
		物産館	○	—	○
		ホテル・ゲストハウス	○	○	○
上記以外の機能		福祉関係の相談窓口	—	○	—
		親子広場	—	○	—
		学校	—	—	○
		託児所/学童	—	○	○
		シェアオフィス	—	○	○

導入機能	整備施設名称等
○	野外交流広場・ポケットパーク
	多目的室
	交流ロビー(コミュニティラウンジ)
	会議室・スタジオ
○	ホール
△	交流ロビー(コミュニティラウンジ)、多目的室との兼用を検討。 多目的室との兼用を検討。 関連計画等の方針やまち全体の機能分担を踏まえ、整備対象外。
△	まち全体の機能分担を踏まえ、専用スペース等の整備は対象外。ただし、多目的室を活用したソフト事業利用は想定。
△	交流ロビー(コミュニティラウンジ)、多目的室との兼用を検討。 民間商業施設であることから、民間事業者ヒアリングによって導入を検討する。 また、野外交流広場や交流ロビー(コミュニティラウンジ)におけるフリーマーケットの開催やホールを利用した映画上映等、ソフト事業による利用は想定。
△	チャレンジスペースとの兼用を検討。
○	チャレンジスペースとの兼用を検討。 チャレンジスペース
○	交流ロビー(コミュニティラウンジ)との兼用を検討。 駐車場
○	まちの案内所
○	交流ロビー(コミュニティラウンジ)やまちの案内所との兼用を検討。 再生拠点等の整備コンセプトを踏まえ、整備対象外。
×	基本構想における導入機能の候補としていないことから、整備対象外。

▼ 旧小林ビルに導入する機能

導入機能の候補	具体的な施設名称	基本構想	居場所づくり会議	団体ヒアリング
交流機能	緑地、広場	○	○	○
文化機能	ホール	○	○	—
教育文化機能	図書館、科学館	○	○	—
娯楽機能	屋内遊戯施設	○	○	○
行政機能	官公庁施設	○	○	—
商業機能	スーパーマーケット	○	—	—
健康機能	運動施設(フィットネス等)、 温浴施設	○	○	—
医療機能	病院・診療所(産科)	○	—	—
子育て支援機能	子ども発達支援センター、保健 センター、幼稚園、保育園、認 定こども園	○	○	—

導入機能	整備施設名称等
○	ポケットパーク
×	
×	
×	
×	
×	再生軸(バルロード)を中心とした人の流れや活動の波及を創出するため、旧トピアビル整備と同様の機能整備を図ることから、整備対象外とする。
×	
×	
×	

導入機能（整備施設）と 整備コンセプトの関係性

市民駐車場

- 誰もが利用できる大型の市民駐車場。駅周辺地区のアクセス性を向上。

会議室・スタジオ

- 各種研修や会議、サークル活動のほか、練習スタジオ等にも活用できる場。

多目的室

- コミュニティラウンジと一体的な空間を演出できる多目的スペース。一体的利用によるコンサートやセパレート利用によるセミナーや講演会等など、様々な利用を可能とする空間を検討。

交流ロビー（コミュニティラウンジ）

- 誰もが気軽に、かつ、自由に過ごせるフリースペース。
- 友人とのおしゃべりや打合せ・相談、勉強・仕事等、多様な利用ができる“居場所”となる場。
- 子どもが遊び、楽しむことができる「子どもの居場所」空間も確保。
- 地元アーティストや学生、文化団体などによる作品展示機能（ギャラリー機能）の導入も検討。

ホール

- 音楽コンサートや演劇、講演会等の幅広い利用が可能な多目的ホール。あらゆるジャンルの市民活動を発表する場所となる空間を確保。

チャレンジスペース

- 飲食、物販など滝川で挑戦ができる場。

ポケットパーク

- 市街地内に設置する小スペースの屋外広場。
- 商業空間としての実験的な取組など、効果的な活用に向けて官民協働によって検討。

野外交流広場

- 様々なイベント、フェスティバルに対応する屋外広場。
- 多様な活動ができる空間づくりによって交流を推進。

まちの案内所

- 滝川の観光案内等を行う場。

いつも誰かと
“集まる”

その場所で
“ゆるくつながる”

体験して
“学ぶ・楽しむ”

魅力づくりに
“挑む”

まちの魅力を
“感じる”

「私たちの居場所」づくり

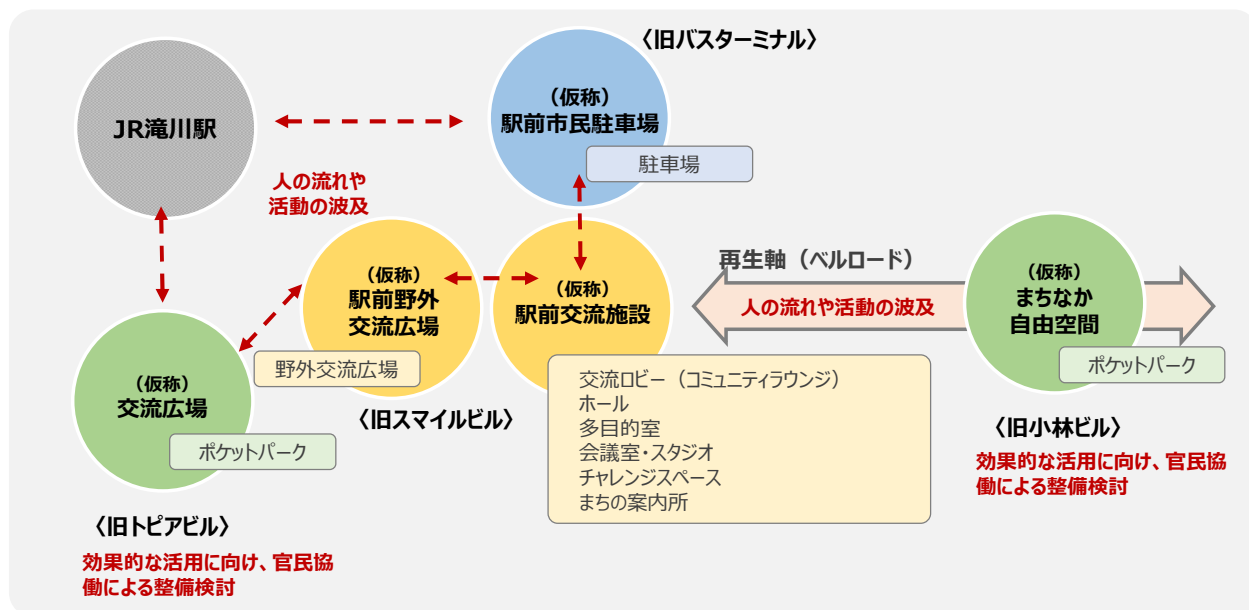
新たな「滝川の顔」づくり

(2) 導入機能の配置と関係性

① 再生拠点等における機能配置

再生拠点においては、JR 滝川駅を起点に、(仮称) 駅前交流施設、(仮称) 駅前野外交流広場、(仮称) 駅前市民駐車場、(仮称) 交流広場 (旧トピアビル) をつなぐよう配置し、さらに、再生軸 (ベルロード) を通じて (仮称) まちなか自由空間 (旧小林ビル) を配置することで、再生拠点や滝川駅周辺地区全体の回遊性を向上し、人の流れや活動の波及を創出します。

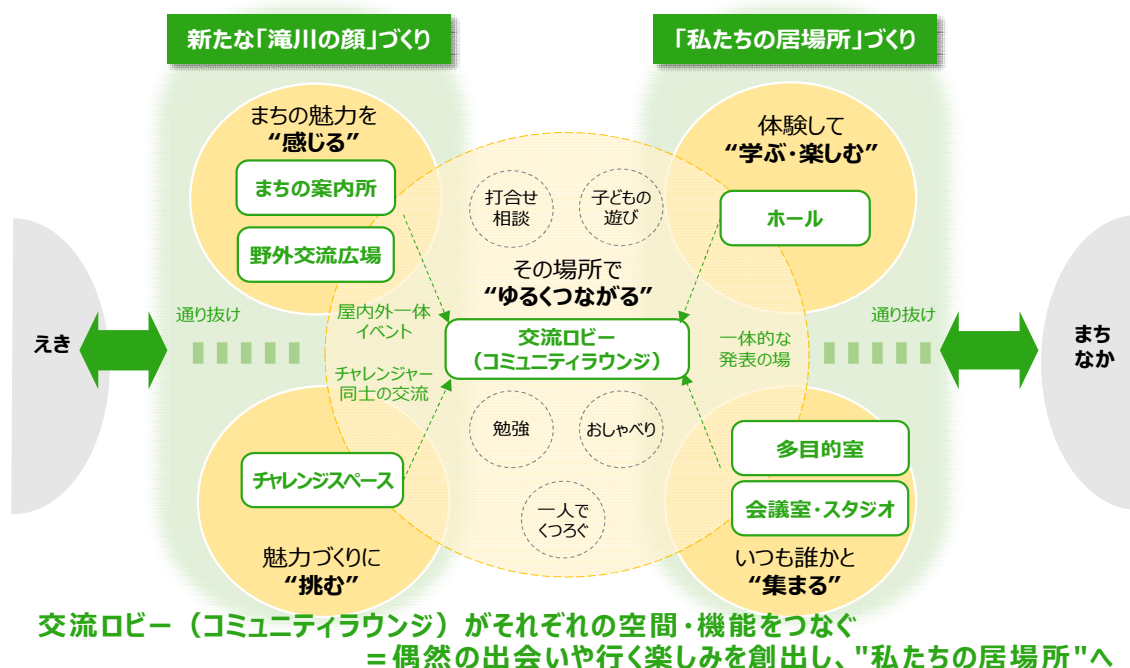
▼再生拠点等における機能配置モデル



② (仮称) 駅前交流施設における機能の関係性

交流ロビー (コミュニティラウンジ) は、誰もが気軽に過ごせるフリースペースであるほか、自由に通り抜けできる場として“えき”と“まちなか”をつなぎ、また、ホールや多目的室、まちの案内所等の各機能をつなぐことで、偶然の出会いや行く楽しみを創出します。

▼(仮称) 駅前交流施設における機能の関係性



2-3 (仮称) 駅前交流施設・(仮称) 駅前野外交流広場

(1) 整備する機能・規模 ※各諸室における詳細、規模については、今後実施する設計にて検討します。

(仮称) 駅前交流施設

ホール

体験して
“学ぶ・楽しむ”

【多様な活動を支える多目的なホール】

- ・芸術文化活動や多様な市民活動における発表、鑑賞の場となるホール。
- ・多様な活動に対応できるように可動式の座席を想定。また、芸術文化活動に必要な舞台空間や音響・照明設備、機材倉庫のほか、親子観覧席、身障者席（バリアフリー）を整備。

＜主な活用例＞

- ・吹奏楽、合唱、演劇等の練習、演奏会
- ・映画上映、シアター
- ・集会、講演会、コンベンション

等

交流ロビー（コミュニティラウンジ）

その場所で
“ゆるくつながる”

【色々な“ヒト・コト”に出会える“居場所”】

- ・多様な世代がみんなでワイワイと、また、一人で静かに、色々な“ヒト”や“コト”に出会う“居場所”となるコミュニティラウンジ。
- ・各機能と“つながる”よう諸室との動線を確保。また、未就学児が安心して遊び、保護者が見守りながら交流することができるような空間を整備。

＜主な活用例＞

- ・友人との談笑
- ・観光客の休憩
- ・作品展示
- ・勉強、仕事
- ・電車、バスの待合
- ・可動式ライブラリー

等

チャレンジスペース

魅力づくりに
“挑む”

【“駅前”の賑わいに波及する飲食・物販スペース】

- ・新たな“滝川の顔”となる施設の魅力を高め、観光客や施設利用者の快適性や利便性の向上に寄与する飲食・物販スペース。
- ・交流ロビー（コミュニティラウンジ）、野外交流広場と連携した使い方に配慮するとともに、駅周辺地区の賑わい創出に寄与するよう施設利用者のみならず外部からも利用できる動線を確保。

＜主な活用例＞

- ・カフェ
- ・売店、地元物産販売

等

まちの案内所

まちの魅力を
“感じる”

【まちの魅力を発信する拠点】

- ・滝川の観光情報や、滝川のお土産、店舗などを紹介する情報発信コーナー。
- ・交流ロビー（コミュニティラウンジ）や多目的室と連携できるよう動線を確保。

＜主な活用例＞

- ・観光案内所
- ・情報発信コーナー

等

多目的室

いつも誰かと
“集まる”

【多目的で可変性のあるフリースペース】

- ・交流ロビー（コミュニティラウンジ）や野外交流広場で過ごす人々、また、市外からの来街者が“つながる”観光交流の場となるフリースペース。
- ・平土間形式による空間とし、交流ロビー（コミュニティラウンジ）との一体利用ができるよう出入口部分を開放的に、また、天井を高くすることで開放感のある空間を整備。
- ・音楽利用も可能とするよう音響や防音性能にも配慮。

＜主な活用例＞

- ・地元物産展示
- ・ホール公演リハーサル
- ・可動式遊具によるキッズパーク
- ・パブリックビューイング

等

会議室・スタジオ

いつも誰かと
“集まる”

【使い勝手の良い活動の場】

- ・地域で活動するサークルや団体の交流の場となる会議室・スタジオスペース。
- ・施設全体の開放性や防犯性、また、利便性を高めるよう利用人数に応じて規模を調整できる間仕切り（可動式）とし、また、野外交流広場や共用部（廊下等）から室内が見えるような整備を想定。
- ・会議室については、ホール公演時に楽屋（控室）として利用できる動線、機能を整備。
- ・スタジオについては、防音性能に配慮。

＜主な活用例＞

- ・各種サークル活動
- ・音楽スタジオ
- ・セミナー
- ・楽屋、控室

等

機 能	規 模	備 考
ホール	約 1,310 m ²	舞台、客席（500～600 席程度）、親子室、倉庫、音響・調整室等 ※参考 旧文化センター 大ホール：約 1,160 m ² （客席（1F 717 席分）約 520 m ² 、ステージ約 340 m ² 、楽屋・袖・廊下等 約 300 m ² ）
交流ロビー （コミュニティラウンジ）	約 700 m ²	
多目的室	約 250 m ²	※参考 旧文化センター2F 会議室：約 200 m ² 、3F 小ホール：約 380 m ²
会議室・スタジオ	約 290 m ²	※参考 まちづくりセンターみんなの交流スペース：約 160 m ² 、会議室 A：約 90 m ² 多目的室：約 90 m ²
チャレンジスペース	約 40 m ²	※参考 市役所売店：約 15 m ²
まちの案内所	約 40 m ²	※参考 観光国際スクエア交流ロビー：約 120 m ²
その他	約 1,170 m ²	事務室、便所、機械室等
合 計	約 3,800 m ²	※参考 旧文化センター 約 4,480 m ²

※外構、敷地内駐車場（約 20 台を想定）を除く

（仮称）駅前野外交流広場

野外交流広場

まちの魅力を
“感じる”

【滝川の顔にふさわしい多目的広場】

- ・ 日常的な市民の憩いや遊び場、また、様々なイベントが開催される場となる屋外広場。
- ・ キッチンカーや屋台の出店、また、臨時駐車場に対応できるよう舗装、電源、給排水設備等を整備。
- ・ 緑陰を生む植栽や芝生等のほか、（仮称）駅前交流施設と連続性・一体性を生む整備とするなど、積雪寒冷地に適した広場空間を整備。

＜主な活用例＞

- ・ 親子でくつろぐ、ソリ滑り
- ・ ピアガーデンやキッチンカー等の飲食イベント
- ・ 交流ロビー（コミュニティラウンジ）や多目的室との一体利用による音楽イベント 等

機 能	規 模	備 考
野外交流広場	約 2,000 m ²	※参考 旧スマイルビル南側広場（公開空地）：約 600 m ² 平和公園：約 4,100 m ²

（２）ゾーニングと配置 ※詳細については、今後実施する設計にて検討します。

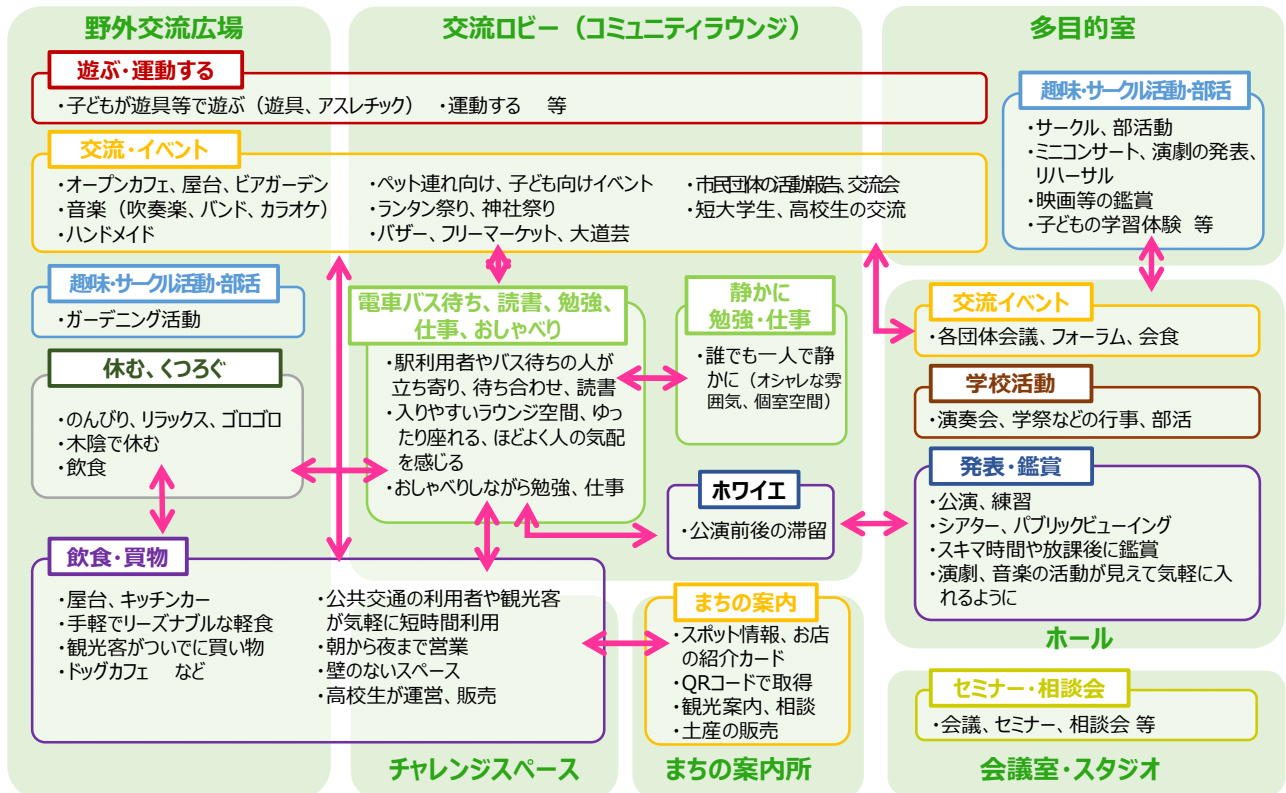
ゾーニング・配置については、１つの活動が１つの機能で完結することなく、他の機能との連携を促進するよう工夫するとともに、駅前に相応しい“滝川の顔”となるよう配置することで、人と人の偶然の出会いや活動の波及、コミュニケーションの創出を目指します。

【ゾーニングの基本的な考え方】

- 交流ロビー（コミュニティラウンジ）は、各機能をつなぐ役割を担う。
- 野外交流広場、交流ロビー（コミュニティラウンジ）、多目的室は、一体的な利用を可能とする。
- チャレンジスペース、まちの案内所と交流ロビー（コミュニティラウンジ）は一体的な空間とする。

▼各機能のゾーニング

※ワークショップ等の意見であり、あくまで使い方や活動イメージの例です。

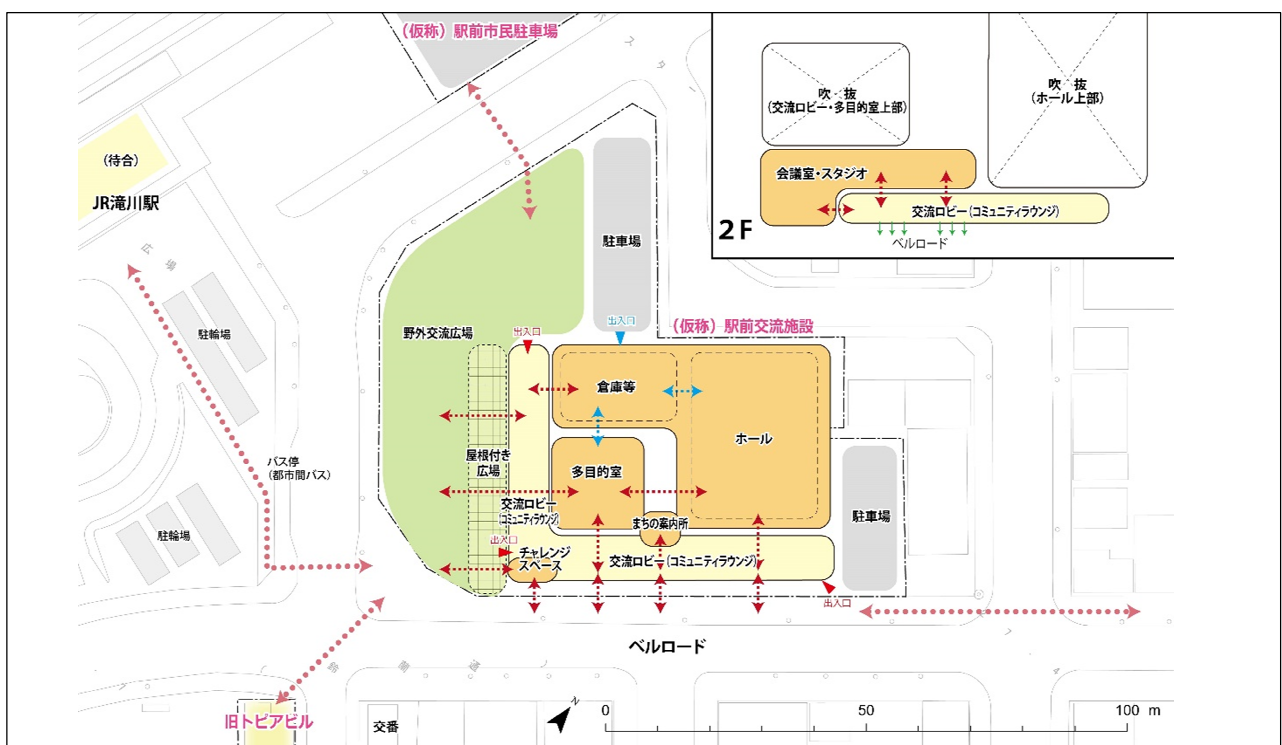


【配置の基本的な考え方】

- JR 滝川駅前に面して野外交流広場を配置するなど、駅前に相応しい“滝川の顔”づくりを行う。
- 交流ロビー (コミュニティラウンジ) は、野外交流広場とベルロードから活動の様子が視認できるよう配慮する。
- 施設出入口は、JR 滝川駅、ベルロード、(仮称) 駅前市民駐車場からアクセスしやすい位置に配置する。
- バック機能は、ホールと多目的室への搬入動線を考慮して配置する。

▼配置のイメージ

※配置はあくまで一例であり、今後実施する設計にて検討します。



2-4 (仮称) 駅前市民駐車場

市民駐車場

いつも誰かと
“集まる”

【交通結節機能を強化する駐車場】

- “まちなか”に訪れる人々の利便性や快適性、滝川駅周辺地区のアクセス性を高め、多くの人を地区内に呼び込む市民駐車場。
- 平面駐車場の整備を想定。なお、料金設定等については、今後検討。

＜主な活用例＞

- まちなかへの買い物
- 広場や交流施設への来訪
- 等

機 能	規 模	備 考
市民駐車場	約 3,100 m ² (約 100 台)	※参考 駅周辺地区内の駐車台数（月極駐車場除く） ・ JR パーク&トレイン 50 台 ・ まちづくりセンターみんくる 96 台 ・ 駅前商店街お買い物無料駐車場 84 台 計 230 台

2-5 (仮称) 交流広場

ポケットパーク

魅力づくりに
“挑む”

【新たなコミュニティを育む交流スペース】

- (仮称) 駅前交流施設や(仮称) 駅前野外交流広場と連携する、市民の新たなコミュニティの場となるポケットパーク。
- コンテナハウスやキッチンカーエリア等の商業空間の整備を想定。

＜主な活用例＞

- 野外交流広場と連携したイベント
- ペット同伴飲食スペース
- チャレンジショップ
- 等

機 能	規 模	備 考
ポケットパーク	約 1,040 m ²	



わいわい!コンテナ 2/佐賀市

※出典：(株)ドーコン撮影



若者クリエイティブコンテナ/宇部市

※出典：若者クリエイティブ
コンテナホームページ

2-6 (仮称) まちなか自由空間

ポケットパーク

魅力づくりに
“挑む”

【まちなか再生のきっかけとなるフリースペース】

- ストリートカルチャーやアーバンスポーツなど、誰もが自由に遊べる、憩いの場となるポケットパーク。
- 休憩スペースやイベント等も可能な開放的な舗装空間の整備を想定。

＜主な活用例＞

- スケボー
- ストリートパフォーマンス
- キッチンカーイベント
- 等

機 能	規 模	備 考
ポケットパーク	約 580 m ²	



親子向けアーバンスポーツ体験パーク
「SAITAMA PARKS」/さいたま市

※出典：さいたま市ホームページ



中央通りスケートボードパーク
社会実験/四日市市

※出典：四日市市ホームページ

第3章 事業計画

事業の実施にあたっては、基本構想に基づき、良質な公共サービスを提供し、地域活性化等に対する効果が高く、また、整備コストの削減を期待できることが重要であるため、官民連携の可能性を検討し、事業手法や概算事業費、財源対策を次のとおり整理します。

3-1 民間事業者の意向把握

(1) 民間事業者プレヒアリング

公募型サウンディング調査の実施に向け、滝川駅周辺地区再生整備事業に対する関心度や施設整備に関する意見といった基礎情報を把握するため、ホールや子ども向け施設の運営実績がある民間事業者にヒアリングを実施しました。

《調査概要》

- 調査時期 令和6年5月9日～令和6年5月21日
- 対象事業者 6社（A:ホール運営4社、B:子ども向け施設運営1社、C:イベント企画1社）
- 調査方法 対面調査

《調査結果概要》

〈ヒアリング結果のポイント〉

- ・ 民間事業者の参画意向が確認できた。また、立地条件についてもネガティブな意見は少なかった。
- ・ 採算が取れる興行を行うには約1,000席以上の規模を必要とするが、ホールの主目的を定め、コンセプトに沿った施設計画を行うことが肝要。
- ・ 子ども向け施設については、小学校低学年までがメインターゲットとなり、他事例での実績を踏まえて500～600㎡程度が適当。
- ・ カフェ・飲食店やスポーツジムは可能性が確認されたが、コンビニの出店可能性は低いことが確認された。
- ・ 日常的に稼働率の高い子ども向け施設については、両親や祖父母も含めて利用するため、まち全体の活性化に寄与することが期待できる。
- ・ 民間による興行誘致やイベント開催も他施設の実績を踏まえ実施可能との回答が確認された。
- ・ PFI※¹とするには一定の事業規模が必要。
- ・ 長期での運営委託では、人件費や物価上昇に対応できるスキームが求められる。
- ・ 市所管が異なる機能が入る場合は設計・建設段階、管理運営段階ともに窓口を一元化してほしいといった、複合施設ならではの課題が確認された。
- ・ サービス内容のバランスを考慮した適切な人員配置計画とサービス購入料の設定が必要。

〈今後に向けて〉

- 独立採算で成立する付帯事業については、今回提示した用途以外も含めて民間事業者の提案を求めることの想定が必要。
- 民間活力導入の効果（VFM※²）算定のため、モデルプランを提示した上で、想定される人員配置や設計・建設・運営にかかる費用の削減率、適切な事業手法等の意見を収集することが必要。

※1 PFI：Private Finance Initiativeの略で、民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律（PFI法）に基づき、公共施設等の設計、建設、維持管理及び運営に、民間の資金とノウハウを活用し、公共サービスの提供を民間主導で行うことで、効率的かつ効果的な公共サービスの提供を図る。

※2 VFM：Value for Moneyの略で、支払い（Money）に対して最も価値の高いサービス（Value）を供給するという考え方のこと。従来方式と比べて総事業費をどれだけ削減できるかを示す割合をのこと。

（２）公募型サウンディング調査

民間事業者等を対象に整備する機能と規模、配置モデル等に対する意見や活用アイデアのほか、民間収益施設導入の可能性、事業手法、また、参画意向や事業条件等に関し、公募型のサウンディング調査を実施しました。

《調査概要》

- 調査時期 令和6年9月2日～令和6年9月30日
- 対象事業者 12社（建築設計2社、内装設計・施工2社、建設2社、運営2社、統括管理等3社、まちづくり1社）
- 調査方法 紙面調査

《調査結果概要》

〈民間収益施設導入の可能性〉

- コンビニエンスストアについては、店前に駐車場（専用）を必須としている現状からも、（仮称）駅前交流施設敷地内の整備は難しい。
- 民間収益施設については、立地条件等からも実現性の高い積極的な提案や参画意向はなく、独立採算も見込まれず、単独出店の可能性は低い。一方、DBO方式※³による事業において、運営事業者との連携による出店の可能性はある。

〈事業手法・参画意向及び条件〉

- （仮称）駅前交流施設、（仮称）駅前野外交流広場については、PPP手法※⁴のうち、DBO方式が望ましいとの意見があり、参画意向もあることから実現の可能性はある。
- （仮称）交流広場、（仮称）まちなか自由空間については、公共によって物件取得、解体、整備を実施しなければ、民間事業者による参画の可能性は低い。

〈今後に向けて〉

- 引き続き民間事業者との対話を実施しつつ、民間事業者の参画を促すような検討が必要。
- 事業手法の選定にあたっては、管理運営に必要な費用も含めた全体事業費による比較検討のほか、運営によるサービス水準等も考慮した上で、選択することが必要。

3-2 事業手法

（１）想定される事業手法

基本構想では、「公設公営」、「公設民営」、「公設民営（DBO）」、「民設民営（PFI）」の4つの手法を比較しましたが、「PFI方式」については、SPC※⁵設立に関する費用や割賦金利といったPFI特有の費用によって事業費削減効果が得られない可能性があり、公募型サウンディング調査結果においても積極的な参画意向はありませんでした。

このことから、想定される事業手法については、「従来方式（公設公営/民営）」と「DBO方式」のほか、設計と管理運営を一括発注し、分離発注した施工業者に技術協力（VE提案）を求めることで事業費の削減効果を図る「DO※⁶+ECI※⁷方式」を対象とし、比較検討を実施しました。

※3 DBO方式：Design Build Operateの略で、行政が資金調達と施設所有を行い、民間事業者に施設の設計・建設と運営を一括して発注する方式。

※4 PPP手法：Public Private Partnershipの略で、公共施設等の建設、維持管理、運営等を行政と民間が連携して行うことにより、民間の創意工夫等を活用し、財政資金の効率的使用や行政の効率化等を図るもの。

※5 SPC：Special Purpose Companyの略で、特定事業を行うために設立された事業会社のこと。PFIでは、公募提案する共同企業体（コンソーシアム）が、新会社を設立して、建設・運営・管理にあたることが多い。

※6 DO：Design and Operateの略で、行政が資金調達と施設の建設、施設所有を行い、民間事業者が施設の設計と運営を一括して発注する方式。

※7 ECI：Early Contractor Involvementの略で、設計段階から施工者が参画し、施工の実施を前提として設計に対する技術協力を行う方式。

▼比較検討する事業手法

	概要	資金調達	設計	施工	管理運営	施設所有
従来方式	- 公設公営方式は、公共が施設の設計、施工、運営、維持管理を民間事業者等と個別に契約。 - 運営については、公共が直接管理運営を行うほか、管理運営業務の一部または全部を民間事業者等に委ねる方式がある。	市	市 分離発注 設計	市 分離発注 施工	市 直営 or 指定管理 民間	市
DO+ECI方式	- DO方式は、施設の所有権は公共が保有し、資金調達も公共が行うが、施設の設計と管理運営を一括して民間事業者等に委託する方式。 - ECI方式は、実施設計段階から施工者が参画し、技術協力を行う方式。施工者の技術力を設計に活かし、設計段階から施工の事前検討が可能となるためスケジュールの短縮、VE提案などによるコストの縮減につながる。	市	民間 設計・管理運営を一括発注 設計 技術協力 市	市 施工 施工は分離発注・実施設計段階から技術協力	民間 管理運営	市
DBO方式	- DBO方式は、施設の設計、施工、管理運営を一括して民間事業者等に委託する方式。 - 発注段階において、管理運営まで含めた契約条件を規定することで、施設の設計、施工、管理運営に関する責任を民間事業者とすることが可能となるとともに、民間事業者の創意工夫が発揮しやすくなり、業務の効率化が図られる。	市	民間 設計・施工・管理運営を一括発注 設計・施工・管理運営一括	民間	民間	市

(2) 事業手法の比較と評価

	従来方式	DO+ECI方式	DBO方式
民間ノウハウの活用	△分割・仕様発注のため、運営に配慮した施設にはなりにくい	○設計に運営ノウハウ、施工技術の反映が可能	◎一括提案により、設計から運営まで配慮した施設となることが期待できる
発注事務	△分割発注となるため、都度事務手続きが必要 ○通常の発注事務のため、これまでのノウハウで対応可能	○設計・運営を一括発注することで一定の事務負担は削減されるが、建設は別発注となるため、公募が2回必要	◎設計・建設・運営を一括で発注するため、発注手続きが一度で済む ○PFI法に縛られないことから、公募手続きの簡略化が可能
事業の安定性	リスク分担	△建設事業者と運営事業者が別となるため、リスク分担が複雑	○市と事業者のリスク分担となり、契約上も責任の所在が比較的明解
	事業継続性	○運営状況に関わらず事業継続可能	○長期運営による継続性リスクはあるが、適切なモニタリングにより対応可能
財政負担		△分割発注のため一括化によるコスト低減が期待できない ○公募関連の調査費が発生しない △公募関連の発注者支援業務費用が発生	◎設計・建設・管理・運営の一括化によるコスト低減が期待できる △公募関連の発注者支援業務費用が発生
実現性	参画意向	△サウンディング調査にて、参画意向は確認できなかった	◎サウンディング調査にて、事業者の参画意向を確認できた
	スケジュール	◎従来型の発注手続きにより、着実な実施が可能 △公募期間が2回に分かれるため、事業実施期間が長期 △建設事業者選定時に設計変更等によるスケジュール遅延リスクがある	◎設計・建設を一体で行うため工期短縮が期待できる
VFM (定量評価)	100.0	95.3～97.3 (従来方式を100とした場合)	91.5～95.5 (従来方式を100とした場合)
総合評価	○	△	◎

（３）事業手法の方向性

- ① （仮称）駅前交流施設、（仮称）駅前野外交流広場については、公募型サウンディング調査において、DBO 方式による官民連携が望ましいとの意見があり、事業参画の意向もあったことを踏まえ、DBO 方式とします。
- ② （仮称）駅前市民駐車場については、公募型サウンディング調査において、官民連携による事業参画の意向はなく、事業内容からも事業費削減効果が比較的小さいことが想定されることも踏まえ、従来方式（公設公営／民営）とします。
- ③ （仮称）交流広場、（仮称）まちなか自由空間については、公募型サウンディング調査において、DBO 方式による事業参画の意向はなかったが、管理運営事業に対する事業参画の意向があったことを踏まえ、従来方式（公設民営）とし、今後、市が不動産の取得、整備を進めます。

3－3 概算事業費

（１）概算事業費

概算事業費については、道内の類似実績を基に建設単価を設定し、基本構想において想定した整備年次に対する物価上昇分を考慮し算定します。

費 目	（仮称）駅前交流施設 （仮称）駅前野外交流広場	（仮称）駅前市民駐車場	（仮称）交流広場 （仮称）まちなか自由空間	備 考
調査設計費	約 3.3 億円	約 0.1 億円	約 0.1 億円	
土地整備費	約 19.1 億円	約 1.7 億円	約 3.9 億円	解体関係
工 事 費	約 36.9 億円	約 0.7 億円	約 0.5 億円	施工関係
合 計	約 59.3 億円	約 2.5 億円	約 4.5 億円	

※什器備品購入費、移転費は含めていません。

（２）財源対策等

本事業に係る財源については、国の各種補助・交付金制度（国土交通省：都市構造再編集中支援事業 補助率 50%）や地方債制度（公共事業等債（充当率 90%、交付税措置率 20%）、公共施設等適正管理推進事業債（充当率 90%、交付税措置率 30～50%））の積極的な活用を目指します。

第4章 管理運営方針

4-1 基本的な方針

基本構想における将来ビジョンや再生拠点等における整備コンセプトの達成にあたっては、民間ノウハウの活用による効率的・効果的な運営を目指すことのほか、学生や親子、ボランティア等の市民、企業、市内各団体が連携した取り組みを進めていくこと、また、“私たちの居場所”を通じた交流を育むことでシビックプライドの醸成につなげていくことが重要と考えます。

こうした状況を踏まえ、管理運営に関する基本的な方針を次のように整理します。

管理運営の基本的な方針

方針1 民間のノウハウを活用した魅力的な事業の推進

- ① 民間事業者のネットワークやノウハウを最大限活用した魅力的な事業の企画・運営の実現を目指します。
- ② 専門人材の確保や外部事業者との連携を目指します。
- ③ ICT※⁸等の活用による利便性の向上を目指すとともに、様々な事業や活動が展開できるよう施設の有効活用を図り、各機能における相乗効果の発揮を目指します。

方針2 市民・市内各団体との連携による事業展開の推進

- ① 市民・市内各団体との連携を推進し、世代や分野を超えた様々な事業展開を目指します。
- ② 施設利用を通じて交流を推進し、来訪者や活動する人を増やすことで日常的に“人がいる”ことを目指します。

方針3 地元雇用の創出と人材育成の推進

- ① 地元の若者や高齢者等、市民が活躍できる雇用機会の創出を目指します。
- ② 芸術文化活動や多様な市民活動を支える仲間づくりの支援や関心を高める機会の創出を図り、様々な活動を担う人材の育成を目指します。

方針4 積極的な情報発信・プロモーションの推進

- ① イベントや施設情報のみならず、歴史や文化、観光情報など、まちの魅力の積極的な発信を目指します。
- ② プロモーション活動を推進し、駅前の“イメージ刷新”を目指します。

方針5 効率的な維持管理の推進

- ① 適切な保守点検や修繕、エネルギー効率や環境負荷を考慮した、安全性や快適性の高い環境維持を目指します。
- ② 市民に愛され、長く使えるよう施設の長寿命化に資する維持管理を目指します。

※8 ICT：Information and Communication Technology 略称で、情報通信技術のこと。新しい技術だけを指すのではなく、メールやSNSなども含め、ネットワークを活用して情報や知識を共有することも含めた幅広い言葉。

4-2 運営事業・維持管理方針

(1) (仮称) 駅前交流施設・(仮称) 駅前野外交流広場

① 運営事業

※詳細については、今後の検討により内容が変更なる可能性があります。

- 子どもから高齢者まで、幅広い世代が訪れる機会の創出を目指し、運営事業者による自主事業の積極的な企画、実施に取り組みます。(野外交流広場や交流ロビー(コミュニティラウンジ)、ホール、多目的室等を利用したイベント、まちづくり会社や商店街等と連携し、中心市街地活性化に寄与する事業等)
- 市民の日常的な活動の場となるよう、ホールや多目的室、会議室・スタジオ等の貸館や設備・備品の貸出等の利用促進に取り組みます。
- 様々な活動を担う人材の育成を目指し、芸術文化活動や市民活動の活性化を推進するプログラム等との連携を検討します。
- 民間事業者による飲食・物販スペースの展開等、新たにチャレンジ、活躍できる場の提供に取り組みます。
- 滝川の観光案内や地元店舗等の紹介、PR等、まちの案内事業に取り組みます。
- 駅周辺地区の再生や施設に対する関心を高めるとともに、施設への愛着や機運の醸成を図るため、設計・建設等の整備段階から、賑わい創出に資する各種事業の実験的な取り組みを検討します。

② 維持管理

- 交流ロビー(コミュニティラウンジ)や野外交流広場について、施設に訪れる目的を問わず、一人でも訪れやすい、滞在しやすいような空間づくり、環境維持に取り組みます。
- 開館日や開館時間、利用区分や利用料金等について、多くの市民から利用される施設となるよう取扱いを検討します。

(2) (仮称) 駅前市民駐車場

- JRやバス等の公共交通利用者のみならず、(仮称)駅前交流施設や(仮称)駅前野外交流広場、商店街への来訪等、目的に応じて容易に利用が可能となるよう管理運営に取り組みます。
- (仮称)駅前交流施設や(仮称)駅前野外交流広場等においてイベントが開催され、駅周辺地区内に多くの来訪者が見込まれるときは、駐車場が不足しないよう周辺駐車場との利用連携を検討します。
- 利用料金や利用方法等の詳細については、駅周辺地区内における駐車場の状況等を踏まえ、取扱いを検討します。

(3) (仮称) 交流広場・(仮称) まちなか自由空間

- 市民が来訪し、憩い・休憩の場となるよう管理運営に取り組みます。
- (仮称)駅前交流施設や(仮称)駅前野外交流広場と連携したイベント、交流活動の実施を検討します。

4-3 運営体制方針

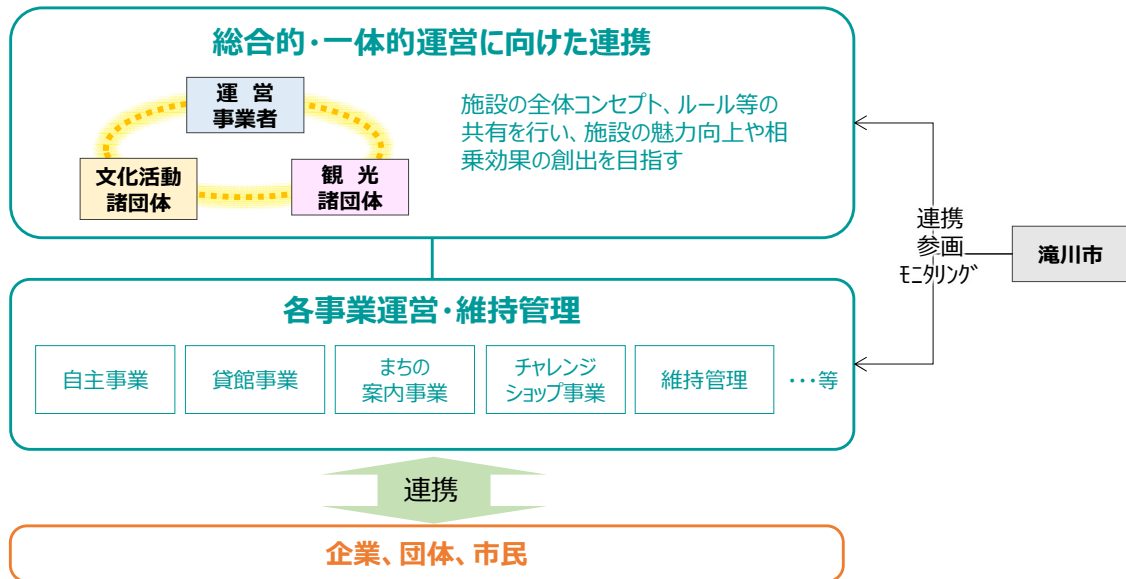
(1) (仮称) 駅前交流施設・(仮称) 駅前野外交流広場

① 総合的・一体的な運営に向けた連携の推進

様々な機能を有する施設であることから、施設の総合的かつ一体的な運営を実現するためにも、運営事業者と施設に関わりを持つ諸団体との連携が重要と考えます。

そのため、各関係者の連携を推進するための体制を検討し、施設の全体コンセプト、ルール等の共有を図る中で施設の魅力向上や相乗効果の創出を目指します。

▼想定される運営体制（例）



② 市民参加の場の設定

施設を“私たちの居場所”としていくためには、多くの市民が施設の利用のみに留まらず、運営への協力やスタッフとしての参画、イベント等の実施等、積極的かつ主体的な関わりを持つことが理想と考えます。

そのため、運営事業者と施設に関わりを持つ諸団体との連携のほか、市民も交えた連携、協働できる環境づくりを検討します。

▼市民参加のパターン（例）

市民参加のパターン	イメージ
鑑賞者・利用者・参加者として参加	・公演を見に行く ・参加・体験型イベントに参加する ・施設を借りて活動を行う
サポートスタッフとして参加	・運営や事業において、時間のあるときにやれることを手伝う
出演者・指導者として参加	・(仮称) 駅前交流施設が行う公演の出演者や講座の指導者等になる
事業の企画・推進役として参加	・事業の一部を企画・提案し、交渉や広報などにも関わる ・他の団体等と協働し、市民活動や文化・芸術の振興につながる事業を行う
事業パートナーとして参加	・市や運営者の協働相手として、運営の一部を担う ・NPO等を作って運営事業者のパートナーとなる

（２）（仮称）駅前市民駐車場

市の直営による運営体制のほか、指定管理者制度等の活用による（仮称）駅前交流施設・（仮称）駅前野外交流広場との一体的な運営体制も検討します。

（３）（仮称）交流広場・（仮称）まちなか自由空間

指定管理者制度の活用を基本に運営体制を検討します。

４－４ 運営費・維持管理費に関する方針

施設運営に係る費用については、様々な市民活動や芸術文化活動の場、情報発信の拠点としての機能を適正に維持していくため、次世代に発展的に継承していく長期的な視点も踏まえつつ、必要経費の確保に取り組めます。

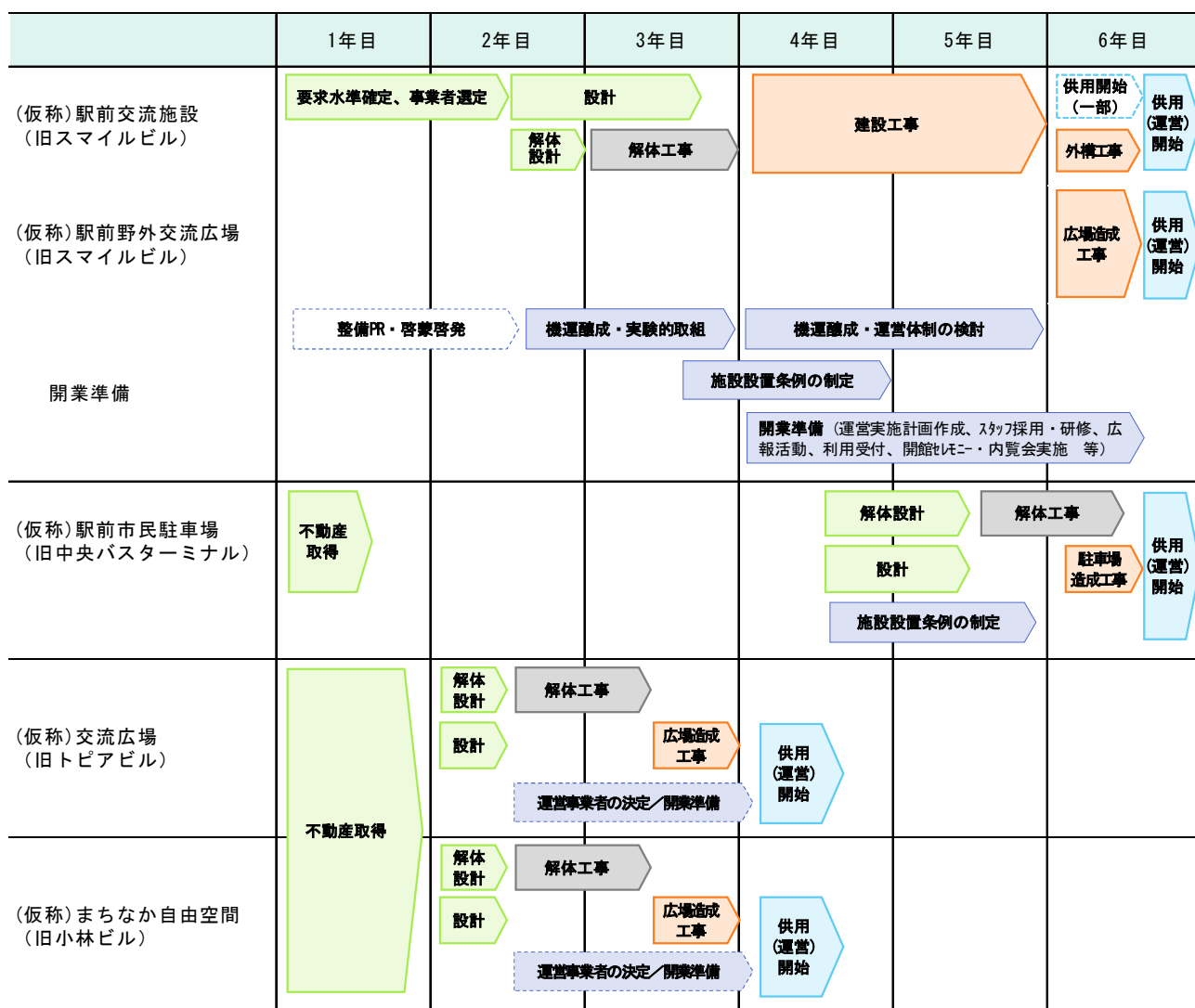
一方、運営事業者においても、民間ノウハウを生かし、様々な自主事業や収益事業の展開、施設稼働率の向上等に取り組む、最大限の収入確保を図るとともに、長期的に安定する効率的な維持管理に取り組む、管理コストの低減に努めます。

第5章 事業スケジュール

（仮称）駅前交流施設及び（仮称）駅前野外交流広場については、DBO方式による事業実施のため、1～2年目に施設の性能（要求水準）を定め、事業者を選定した後、設計・建設工事を経て、6年目の供用（運営）開始を目指します。なお、（仮称）駅前市民駐車場においても、（仮称）駅前交流施設に並行して整備し、同様に6年目の供用（運営）開始を目指します。

また、（仮称）交流広場及び（仮称）まちなか自由空間については、1年目に不動産の取得手続きを進めた後、解体・広場造成工事を経て、4年目の供用（運営）開始を目指します。

▼事業スケジュール



参考資料 策定経過資料

資料 1 市民ワークショップ「居場所づくり会議」

(1) 第1回 居場所づくり会議

「コンセプトを共有する ～構想を知る！駅前について考える～」

日 時：令和6年6月13日（木）18:00～20:30

場 所：滝川市民交流プラザ

出席者：21名 傍聴者：27名

概 要：

1. 開会
2. 講演

一般社団法人 新渡戸遠友リビングラボ
理事長 小篠隆生 氏

『多様な参画による居場所の復権を目指す
再開発は可能か～まちの居場所づくりと再開発～』

3. 休憩・質疑応答
4. グループディスカッション

「コンセプト」を共有する
～構想を知る！駅前を考える～
〈テーマ〉
コンセプトをふまえて滝川の駅周辺地区をどのような
場所にしていきたい？

5. グループ発表
6. 小篠先生からの総評
7. 閉会

▼中心市街地活性化協議会 明円会長による挨拶



▼小篠隆生氏による講演



▼グループディスカッションの様子

A グループ



B グループ



C グループ



D グループ



E グループ



各グループ発表を踏まえた小篠先生からの総評（概要）

- ・ 人がまちに行くのは予定していないことが体験できるから。そういった体験が駅前できなくなってきた。
- ・ 具体的な機能が多く出てきたが、なぜそれが欲しいのかという根本的な意味を考えていかなければいけない。
- ・ スタバのような一人でしやすい場所を作るには、受け入れてあげるような状況を作る必要がある。
- ・ そのため、機能を決めない・自由な使い方をできる運営の仕方が重要である。
- ・ 駅前にそのような多様な人・使い方を受け入れる場所は他に「映え」であると感じる。

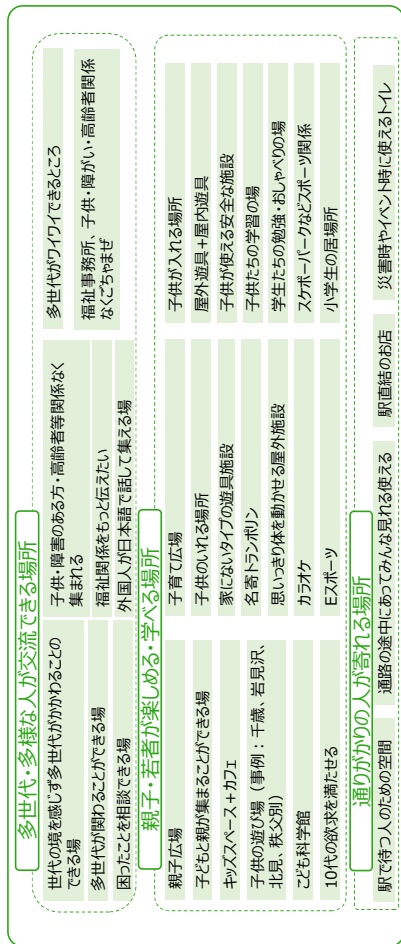


本日発表のあった個々の意見について、みんなが共有できるようなキーワード、
テーマに落とし込む必要がある。

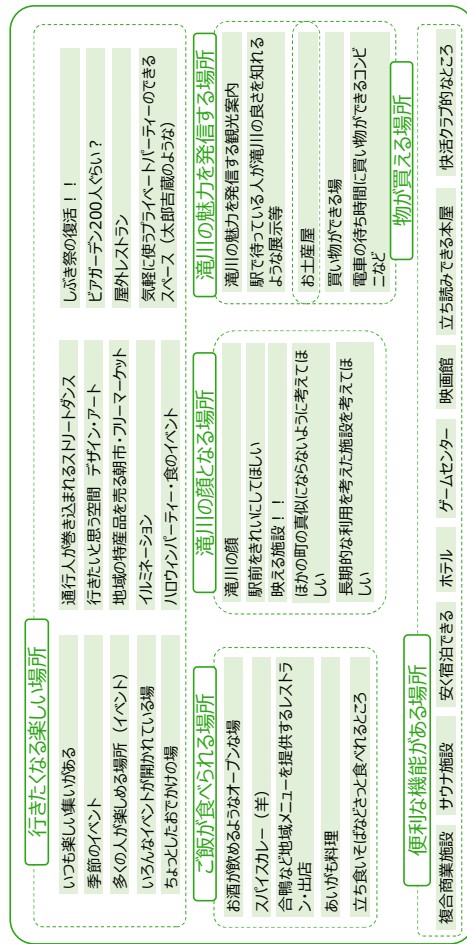
第1回 居場所づくり会議 「コンセプトを共有する ～構想を知る！ 駅前について考える～」

ディスカッションテーマ：滝川駅周辺地区をどのような場所にしていきたいか？

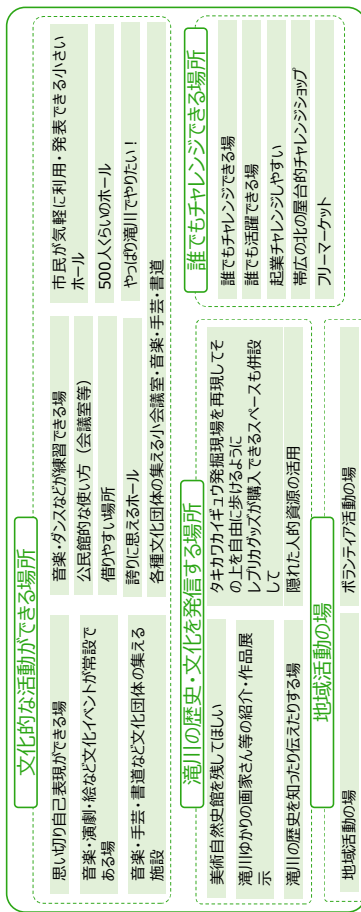
滝川駅周辺地区をどのような場所にしていきたいか、グループディスカッションやアンケートによる主な意見を「○○な場所」で整理しました。 ※一部意見の抜粋



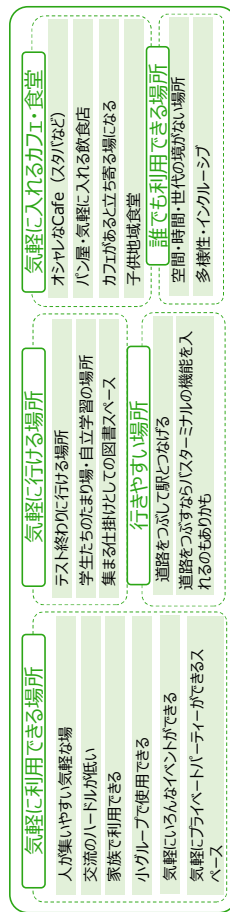
1. 多世代の交流や学びが生まれる場所



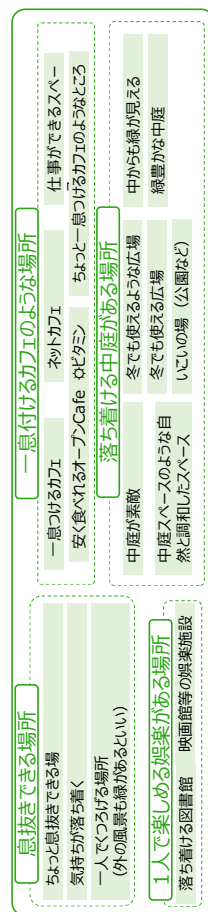
3. 行きたくなる魅力がある・新たな出会いがある場所



2. 文化を育む・挑戦できる場所



4. 気軽に利用する・集える場所



5. ひとりで居やすい・居心地がいい場所

(2) 第2回 居場所づくり会議

「(仮称) 駅前交流施設の機能を考える

～施設の具体的なイメージについてみんなでアイデアを出してみよう!～

日 時: 令和6年6月27日(木) 18:00～20:00

場 所: 滝川市民交流プラザ

出席者: 23 名

傍聴者: 11 名

概 要:

1. 開会
2. 前回の振り返り
3. グループディスカッション

(仮称) 駅前交流施設の機能を考える

～ 施設の具体的なイメージについて
みんなでアイデアを出してみよう!～

〈テーマ〉

テーマごとに『駅前に創る』ことを活かして、ふさわしい
機能や具体的な施設イメージを深掘りしよう

4. 休憩
5. グループ発表
6. 小篠先生からの総評
7. 閉会

▼グループディスカッションの様子



A グループ



B グループ



C グループ



D グループ



E グループ



各グループ発表を踏まえた小篠先生からの総評 (概要)

- ・ 学校の活動を展開してまちの活性化につなげるには地域の力が必要。
- ・ 滝川ならではの生活の中にある文化を自慢できるようにする。
- ・ 上の世代の経験を次の世代に引き継ぐような体験ができる場所が多世代交流の場。
- ・ 居場所づくりには気楽に入れる場所が大切。
- ・ 人を呼ぶには「駅前」というアドバンテージがある。
- ・ 魅力化するうえではそこにしか売っていないもの売ることも大切。



滝川とはこういうまちであるという「一つのストーリー」ができるようなものが欲しい。
滝川ならではの生活「滝川スタイル」を市民が気軽に自慢できるような状態を作りたい。

第2回 居場所づくり会議
「(仮称)駅前交流施設の機能を考える ～施設の具体的なイメージについてみんなでアイデアを出してみよう!～」

ディスカッションテーマ：テーマごとに『駅前に創る』ことを活かして、ふさわしい機能や具体的な施設イメージを深掘りしよう

第1回の意見から整理した5つの「場所」のうち、居場所に関する性格・コンセプトに関わる3つの「場所」について、深掘り検討しました。

1. 多世代の交流や学びが生まれる場所

交流が生まれる活動を行う場

多様な年齢 ↓	・陶芸教室 ・アヌ文化体験 ・文化的交流（体験でき るもの、普段は出 来ないような場 所）	子ども同士の合同演奏 各学校の交流（OB・OG 含む） 市民から市民への講座 市民から市民への講座	月1.2ペースでボランティア つくる、人形劇・書道 みんなでジギスカン
------------	--	---	---

いろんな使い方ができる場

課題研究の場を 用意してほしい	軽い運動ができる場所	フリーの体験スペース →いろいろなイベント会場にも 使える	スタジオスペース (テ ラワーク)
勉強しつても きょううな 手帳きないで活動 できる	思い思いの過ごし方 学祭や部活などで気 軽にふかえたら…？	体を思い切り動かせる 総合福祉センターがなぐつ たので、学内(充電) のため	広場・自由に騒げる 広べい階段 庶れる。行める。
何もなし「場所」が あれば何でもできる	本読めるスペース いらない本が貯まる 医療相談ができる	絵本など自由に読める図書 空間・瞬間、階段 子供→子供	勉強が気軽にできる ex) 大人→子供 子供→子供

誰でも入れる・つながれる空間

境界を溶かすサトレス
 壁や仕切りがない、1つの場所で行えるようなことをしている人々。
 その場にいる人同士で活動できる

いふも世代がいて…大通公園、モリ沼
 「あ、なかやってる…入ろうかな」となるような
 気軽さ
 いつでも聞いている、聞ける
 市外の人も気軽に來れる
 ごちゃまぜ、誰でも助け合える
 オープンスペース
 オープンスペース

子どもが遊べる場

水の遊びなど ハゲでむける場所	ちつるなどの滝川にある公園などでは できないアスレチック	プリクラ・ゲーゼン 駅に高校生がたぐさん 高校生が遊べる休日はお帰所
水とふれあいたまに以外 で自由に遊ぶ	子ども科学館、子どもの遊び場 (秋分別・岩見沢・北見) 大規模な！	

多様な人が様々な活動・過ごし方を
通してつながれる施設

2.文化を育む・挑戦できる場所

格的な演奏ができる大ホール

音響効果の配慮が行き届いたホール、10m以上、観客1人当たりの容積
他の町村と一線を画す大ホール。音響、舞台装置
小中高の吹奏楽等専任が可能な2800~700席程度の大ホール、家族4名が記
録、60人以上200人
楽屋・リハ室を充実
滝川の音楽文化の隆盛のため
にも音響効果の優れたホールを

誰でも、多用途に使えるボール・空間

学生・部活の練習ができるホール	なんでも使えるピアノ・ダンスに弾ける多機能の大ホールが可動、空間を変えられるインバントでなホール	吹奏楽の練習場である150~200㎡
気圧に慣れられる。一般の人に向けたもの。	誰でも使えるライブ会場、劇	文化団体、サークル等が活動できる会議室、10室以上

ダンスの発表会をまたで
きるような場所以前は
滝川ホール

作品を自由に展示でき
るホール！

学校行事をホールで
市民に公開...

小ホールで小さな発表・
講演、勉強会

学祭の一部の公演を
ホールで行い、地域の
人に見てもらう。高校
の宣伝にもなる。

オールマイティに使える
升仁堂スペース

自由な発表、自由な表
現ができる

市民活動を発表する場

情報発信をする場

フレイグッド的なもの
情報発信的のものも
含めて他のイベント目
録にあげてお

コミュニケーションボード

情報発信 & 収集

札幌市HITARU
図画コーナー～情報発信

本格的な文化のみならず
市民の日常の文化も育み発信する施設

3. 行きたくなる魅力がある・新たな出会いがある場所

魅力を作り出すイベントを行う場合

和食館をペルロードで
観覧光栄のボート・ドヌス
キャプター・イベント
キッズのためのイベント

季節ごと以外観をま
変え、アトラクション
ツインジグ等
ジョギングのアレ
ン
ジ料理
ジ料理
長続きする企画

仲社長以外の
見に来くなる
とかなる(ワサ
イベント
もらう

ライブ会場を作
り、その上にて一
泊川の上について

滝川の特産品等を販売する場

朝市・リーマーケット
（言やうにい）日
曜日出づいたに（商店
街との連帯をきかつ

瀧川ナトリ、ジラルメニ
ー

コンビーや瀧川1名産の
店（名物、食べ物）

瀧川市ではお茶園、田
畑、山産の特産品を
販賣、道の駅にも2

皮、ジュリー商品の何店か
ある。なおお店が密集しな
いから（点々とおちつか

瀧川の特産品を駅の近く（JR待
合のすみこ）にあはるほかと知ら
れてはいない）

滝川ならではの魅力を発信する空間

葉の活用 （生花の活用） 花はいい（情報）	瀧川に歴史を学ぶ機会 空・雪・花がかわつた 花 個性的な名称（密称）	瀧川に来たい！と思えるシンボルは必要か
東小近の壁面一帯は参加の盛か！かぎが多い	瀧川の有名な人・偉人を知れる場所 ・シンギスカン・ユナエパー ・グラタター・農業・菜の花	

行きたくなる便利な機能

トイレがキレイ（誰にでも使える多機能トイレ）	コンドミ、トイレなどの利便性が高いと自然に人が集まる	公園ベンチがある
桜並の広がる	温泉施設 映画館	無料でいられる

行きたくなる立地・アクセス

バス・スターミナル交通の拠点がポイント（札幌市地下鉄千代田線、人の流れを促す）	駅とつながる	徒歩圏内完結する
		通学の途中で立ち寄れる

便利な「駅前」で滝川ならではの
魅力をつくり発信する施設

(3) 第3回 居場所づくり会議

「(仮称) 駅前交流施設の活用イメージを考える ～各世代ごとの具体的な使い方は?～」

日 時：令和6年8月22日(木) 18:00～20:00

場 所：滝川市民交流プラザ

出席者：21名

傍聴者：15名

概 要：

1. 開会
2. 第1回～第2回 WSの振り返り
3. 再生拠点等の整備コンセプト
4. グループディスカッション

(仮称) 駅前交流施設の活用イメージを考える ～各世代ごとの具体的な使い方は?～

〈テーマ〉

(仮称) 駅前交流施設の各世代の具体的な使い方とそれを実現するための機能の関係性について考えよう!

〈テーマ①〉

(仮称) 駅前交流施設での過ごし方とそれを実現するためにあったら嬉しい空間を考えてみよう!

〈テーマ②〉

テーマ①をもとに、それぞれの導入機能の関係性について議論してみよう!

5. 発表
6. 小篠先生からの総評
7. 閉会

▼グループディスカッションの様子

A グループ



B グループ

C グループ



D グループ



E グループ



各グループ発表を踏まえた小篠先生からの総評(概要)

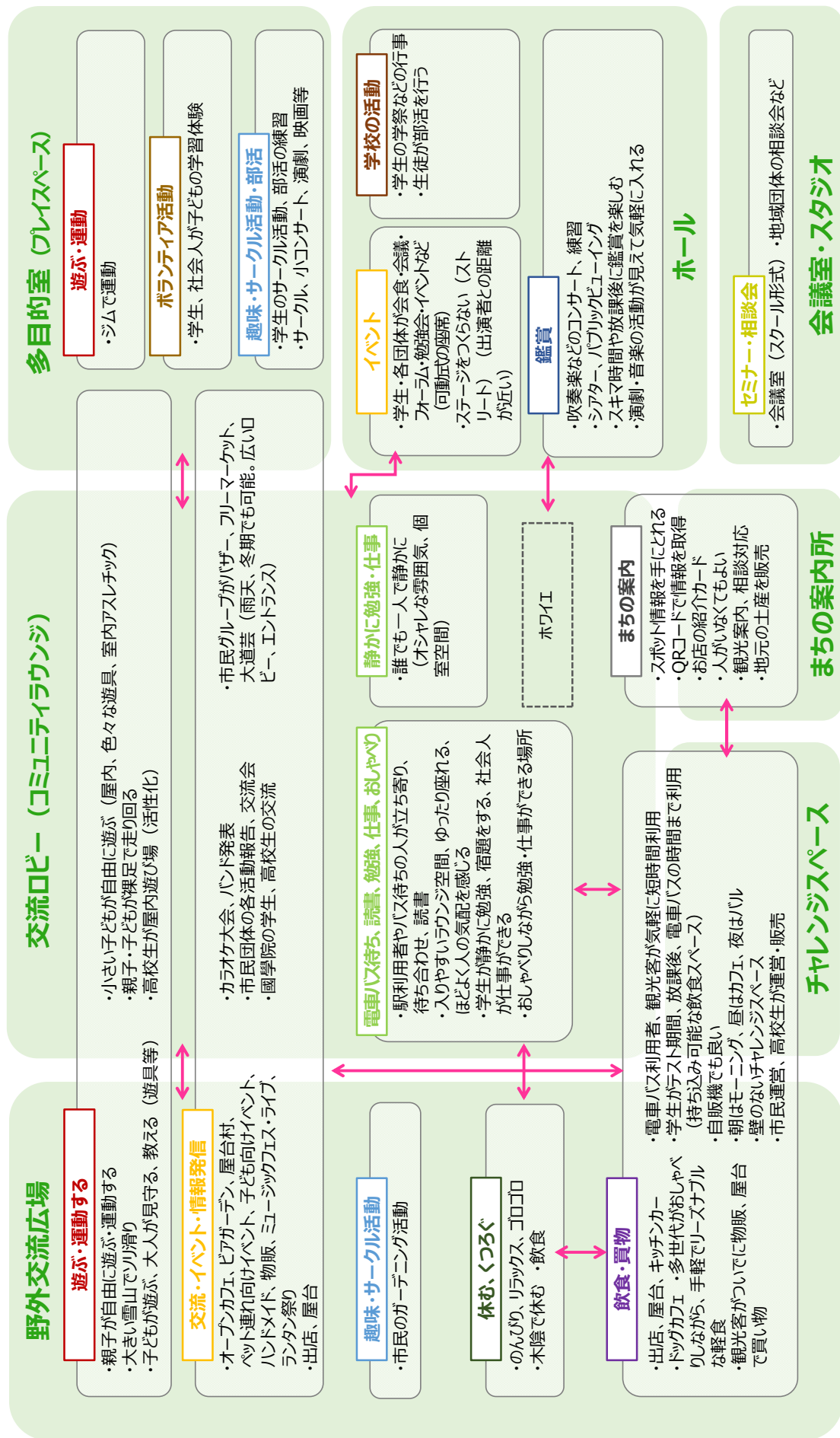
- ・ イメージの写真を使いながら施設で行う活動がどういった空間イメージと結びつくのかを考え、自分たちの言葉で整理したことはよかった。
- ・ 同じ場所で同時に色々な活動が行われているという状態が居場所づくりや新たな滝川の顔づくりにつながっていいと思うが、特に新たな滝川の顔づくりにどうつながるかは今日の話し合いでは見えてこなかった。



今日話し合った「同じ場所で色々な活動が行われている状態」が新たな滝川の顔づくりにどうつながっていくかについて今後より深めた検討をしていく必要がある。

第3回 居場所づくり会議「(仮称)駅前交流施設の活用イメージを考える～各世代ごとの具体的な使い方は?～」 ディスカッションテーマ：(仮称)駅前交流施設の各世代の具体的な使い方とそれを実現するための機能の関係性について考えよう！

(仮称)駅前交流施設に導入予定の各機能での過ごし方と機能の関係性について検討を行いました。



(4) 第4回 居場所づくり会議

「(仮称) 駅前交流施設の企画・運営方法を考える

～より良い施設にするためにはどのように企画・運営していったらよいだろう?～

日 時: 令和6年9月25日(水) 18:00～20:00

場 所: 滝川市民交流プラザ

出席者: 19名

傍聴者: 15名

概 要:

1. 開会
2. 第1回～第3回 WSの振り返り
3. ゾーニングの説明
4. グループディスカッション

(仮称) 駅前交流施設の企画・運営方法を考える ～より良い施設にするためにはどのように企画・運営していったらよいだろう?～

〈テーマ〉

(仮称) 駅前交流施設が「私たちの居場所」として、常に賑わいや交流が生まれるために、どのような工夫・企画があると良いか?

〈テーマ①〉

ホール・多目的室の様々な使い方と、いつも誰かがいる工夫・集まるしかけ、必要な設えを考えてみよう!

〈テーマ②〉

(仮称) 駅前交流施設で、あなたはどのようなイベント・企画をやりたいですか? テーマ①で話し合った使い方・企画を詳しく考えてみよう!

5. 発表
6. 小篠先生からの総評
7. 閉会

▼前田市長の挨拶



▼グループディスカッションの様子

A グループ



B グループ



C グループ



D グループ



各グループ発表を踏まえた小篠先生からの総評(概要)

- ・ イベントを運営するには皆さんが主体となって行っていく必要があり、今から運営組織を作っておく必要がある。
- ・ 「駅前であり滝川の顔である」施設がどういう施設なのかについては課題が残る。
- ・ 若い人にシビックプライドを持ってもらうためには教育機関の連携が必要で、連携の仕組みを構築するのは行政の役割である。
- ・ 単なる文化施設でなく、最終的には人口施策につながっていく施設である、と考えると可能性が広がる。
- ・ 施設だけでなく、周りのまちなかへの波及効果についても考えていく必要がある。



今回の施設づくりは、一つ一つがすべて滝川のまちづくりの根幹につながる大切なことであると感じている。みんなの力で作り上げ、使い、運営していきような施設になればよい。

第4回 居場所づくり会議 「（仮称）駅前交流施設の企画・運営方法を考える～より良い施設にするためにはどのような企画・運営していったらよいだろう？～」

ディスカッションテーマ：（仮称）駅前交流施設が「私たちの居場所」として、常に賑わいや交流が生まれるために、どのような工夫・企画があると良いか？

～テーマ①：ホール・多目的室の様々な使い方と、いつも誰かがいる工夫・集まるしかけ、必要な設えを考えてみよう！

～テーマ②：（仮称）駅前交流施設で、あなたはどのようなイベント・企画をやってみたいですか？ テーマ①で話し合った使い方・企画を詳しく考えてみよう！～

テーマ①：ホール・多目的室の多様な使い方と人が集まるための工夫・設えについて検討を行いました。

テーマ②：各班から以下のようなイベントのアイデアが出されました。

日常		イベント等	
時間	使い方	工夫・設え	
	遊び・健康づくり・勉強・交流・その他	ホール・多目的室	
午前	遊具場（室内） 施設内を巡る 図書物販走 子どもの遊び場（AM・PM）	気軽な音楽 ストリートピアノ ストリートミュージシャン ストリートライブ フリーホールライブ	規模を4,500人じゃなくして、800人くらいにしてほしい 同じ日に使えるように 可動式のイスに 可動席 なんでもつかえるホールにしてほしい
	映画鑑賞 映画上映会 休日 映画館	多目的室 いつでも市内のサークル団体・個人の作品展示 半個室空間 外から見える教室 多目的室 いつでも市内のサークル団体・個人の作品展示	有線ポラテアにき てもらう （大学生・短大） （みんなで宿題会） 市民みんなが使える には料金を格安にす べき（全てに共通）
午後	学生café（市内高校・生・短大つながり） 学生café（市内高校・生・短大つながり） 学生café（市内高校・生・短大つながり） 学生café（市内高校・生・短大つながり）	空と宇宙の展示 菜の花コーナー（4～5月） イベント 学識者交流、スポーツ体 験会、バドミントン、モ ンブランなど	準備・手配など 準備（誰でも簡単に い）映像をみるこ か、音楽をかける とか 充電可（全てに共通） 電子決済 wi-fi oneドットZoneおかし なドットZoneおかし
	学生café（市内高校・生・短大つながり） 学生café（市内高校・生・短大つながり） 学生café（市内高校・生・短大つながり） 学生café（市内高校・生・短大つながり）	空と宇宙の展示 菜の花コーナー（4～5月） イベント 学識者交流、スポーツ体 験会、バドミントン、モ ンブランなど	準備・手配など 準備（誰でも簡単に い）映像をみるこ か、音楽をかける とか 充電可（全てに共通） 電子決済 wi-fi oneドットZoneおかし なドットZoneおかし
夜間	学生café（市内高校・生・短大つながり） 学生café（市内高校・生・短大つながり） 学生café（市内高校・生・短大つながり） 学生café（市内高校・生・短大つながり）	空と宇宙の展示 菜の花コーナー（4～5月） イベント 学識者交流、スポーツ体 験会、バドミントン、モ ンブランなど	準備・手配など 準備（誰でも簡単に い）映像をみるこ か、音楽をかける とか 充電可（全てに共通） 電子決済 wi-fi oneドットZoneおかし なドットZoneおかし
	学生café（市内高校・生・短大つながり） 学生café（市内高校・生・短大つながり） 学生café（市内高校・生・短大つながり） 学生café（市内高校・生・短大つながり）	空と宇宙の展示 菜の花コーナー（4～5月） イベント 学識者交流、スポーツ体 験会、バドミントン、モ ンブランなど	準備・手配など 準備（誰でも簡単に い）映像をみるこ か、音楽をかける とか 充電可（全てに共通） 電子決済 wi-fi oneドットZoneおかし なドットZoneおかし
イベント等	学生café（市内高校・生・短大つながり） 学生café（市内高校・生・短大つながり） 学生café（市内高校・生・短大つながり） 学生café（市内高校・生・短大つながり）	空と宇宙の展示 菜の花コーナー（4～5月） イベント 学識者交流、スポーツ体 験会、バドミントン、モ ンブランなど	準備・手配など 準備（誰でも簡単に い）映像をみるこ か、音楽をかける とか 充電可（全てに共通） 電子決済 wi-fi oneドットZoneおかし なドットZoneおかし
	学生café（市内高校・生・短大つながり） 学生café（市内高校・生・短大つながり） 学生café（市内高校・生・短大つながり） 学生café（市内高校・生・短大つながり）	空と宇宙の展示 菜の花コーナー（4～5月） イベント 学識者交流、スポーツ体 験会、バドミントン、モ ンブランなど	準備・手配など 準備（誰でも簡単に い）映像をみるこ か、音楽をかける とか 充電可（全てに共通） 電子決済 wi-fi oneドットZoneおかし なドットZoneおかし

日常		イベント等	
時間	使い方	工夫・設え	
	遊び・健康づくり・勉強・交流・その他	ホール・多目的室	
午前	遊具場（室内） 施設内を巡る 図書物販走 子どもの遊び場（AM・PM）	気軽な音楽 ストリートピアノ ストリートミュージシャン ストリートライブ フリーホールライブ	規模を4,500人じゃなくして、800人くらいにしてほしい 同じ日に使えるように 可動式のイスに 可動席 なんでもつかえるホールにしてほしい
	映画鑑賞 映画上映会 休日 映画館	多目的室 いつでも市内のサークル団体・個人の作品展示 半個室空間 外から見える教室 多目的室 いつでも市内のサークル団体・個人の作品展示	有線ポラテアにき てもらう （大学生・短大） （みんなで宿題会） 市民みんなが使える には料金を格安にす べき（全てに共通）
午後	学生café（市内高校・生・短大つながり） 学生café（市内高校・生・短大つながり） 学生café（市内高校・生・短大つながり） 学生café（市内高校・生・短大つながり）	空と宇宙の展示 菜の花コーナー（4～5月） イベント 学識者交流、スポーツ体 験会、バドミントン、モ ンブランなど	準備・手配など 準備（誰でも簡単に い）映像をみるこ か、音楽をかける とか 充電可（全てに共通） 電子決済 wi-fi oneドットZoneおかし なドットZoneおかし
	学生café（市内高校・生・短大つながり） 学生café（市内高校・生・短大つながり） 学生café（市内高校・生・短大つながり） 学生café（市内高校・生・短大つながり）	空と宇宙の展示 菜の花コーナー（4～5月） イベント 学識者交流、スポーツ体 験会、バドミントン、モ ンブランなど	準備・手配など 準備（誰でも簡単に い）映像をみるこ か、音楽をかける とか 充電可（全てに共通） 電子決済 wi-fi oneドットZoneおかし なドットZoneおかし
夜間	学生café（市内高校・生・短大つながり） 学生café（市内高校・生・短大つながり） 学生café（市内高校・生・短大つながり） 学生café（市内高校・生・短大つながり）	空と宇宙の展示 菜の花コーナー（4～5月） イベント 学識者交流、スポーツ体 験会、バドミントン、モ ンブランなど	準備・手配など 準備（誰でも簡単に い）映像をみるこ か、音楽をかける とか 充電可（全てに共通） 電子決済 wi-fi oneドットZoneおかし なドットZoneおかし
	学生café（市内高校・生・短大つながり） 学生café（市内高校・生・短大つながり） 学生café（市内高校・生・短大つながり） 学生café（市内高校・生・短大つながり）	空と宇宙の展示 菜の花コーナー（4～5月） イベント 学識者交流、スポーツ体 験会、バドミントン、モ ンブランなど	準備・手配など 準備（誰でも簡単に い）映像をみるこ か、音楽をかける とか 充電可（全てに共通） 電子決済 wi-fi oneドットZoneおかし なドットZoneおかし
イベント等	学生café（市内高校・生・短大つながり） 学生café（市内高校・生・短大つながり） 学生café（市内高校・生・短大つながり） 学生café（市内高校・生・短大つながり）	空と宇宙の展示 菜の花コーナー（4～5月） イベント 学識者交流、スポーツ体 験会、バドミントン、モ ンブランなど	準備・手配など 準備（誰でも簡単に い）映像をみるこ か、音楽をかける とか 充電可（全てに共通） 電子決済 wi-fi oneドットZoneおかし なドットZoneおかし
	学生café（市内高校・生・短大つながり） 学生café（市内高校・生・短大つながり） 学生café（市内高校・生・短大つながり） 学生café（市内高校・生・短大つながり）	空と宇宙の展示 菜の花コーナー（4～5月） イベント 学識者交流、スポーツ体 験会、バドミントン、モ ンブランなど	準備・手配など 準備（誰でも簡単に い）映像をみるこ か、音楽をかける とか 充電可（全てに共通） 電子決済 wi-fi oneドットZoneおかし なドットZoneおかし

資料2 団体ヒアリング

滝川商工会議所政策研究会との意見交換

令和6年3月18日 16:00~17:15

〈導入機能に関すること〉

- 駅前高校を検討に加えてほしい。
- 駅周辺に**ビジネスホテル**ができれば、三楽街への派生効果も期待できると思う。

〈その他〉

- 駅前は寂れている。綺麗にすることは素晴らしいこと。
- とにかく駅前をなんとかしてほしいと思う。
- 駅前の整備は長年望んでいたこと。駅前を綺麗にしてほしいとの意見が多い。
- 寂れているペルロードも具体的にやっていく事を示せば、市民にも賛同して貰えるのではないかなと思う。
- 駅前の価値を上げれば、民間事業者も活かせると思う。
- 民間の知恵を絞って計画を良くしていきたいと思う。
- PFIで駅前高校を作りたい。
- 市民に正しい情報を広めていければと思う。

滝川西高等学校 授業科目「総合的な探究の時間」における研究グループ生徒と市職員との意見交換

令和6年5月22日 16:00~17:00

〈導入機能に関すること〉

- 滝川駅周辺に**学生が集える場所**が欲しい。
- 勉強や会話ができ、**フリーで入れるよう場所**がほしい。(机、イスがほしい)
- **飲み物や軽食が買えるようなところ**がほしい。
- 駅に着いた際に建物が近いと圧迫感があるので、**屋外広場**があるとひろびろ感じられて良いと思う。

滝川金融協会との意見交換

令和6年6月4日 13:30~15:00

〈導入機能に関すること〉

- **高校生の勉強場所**があると良い。
- **公共交通等を待つ場所**があると良い。
- **こどもを預ける場所**があると良い。
- 苗穂の事例では、住居 + シェアオフィスが好評。
- 囲碁、将棋、麻雀ができるようなスペースは活気があった。
- **貸し会議室として大人数が使える空間（空知の結集場所）**があると良い。
- **簡易宿泊機能**など素泊まりできるところがあると良い。
- **物産館、カフェ**があると良い。
- **駐車場**があると良い。
- **初期投資が少なくお店を出せる**ところがあると良い。

國學院大學北海道短期大学部総合教養学科

板垣助教 ゼミナールⅡ 「まちなかに何があったらいい??」

令和6年6月13日 11:00~14:00

〈フィールドワークの感想（地区の現状等）に関すること〉

- 学生の往来はあるが、特定の時間のみ。基本人通りがない。
- 定食屋や食堂はあるが、ふらっと入れる場所がない。
- 出店数が目視調査で24店。同一業種（理容院や婦人服等）の店しかない。
- 商店街というほど商店がない。
- 景観が良くない。イメージが悪い。駅前の景色の中心に駐輪場がある。
- 商店街なのに車道が広い。アーケードが真上のみ。

〈地区の理想的なイメージ・コンセプトに関すること〉

- 古いものを活かしたまちづくり。テーマパークのような商店街。**外から集客する工夫**が必要。昭和レトロ。
- 昭和のデパートのような商業施設に。
- **1階ホール、2階休憩スペース、快適性**がある拠点。
- 商店街を再起するのではなく、商店街が持っていた役割を伝承した地区。商店街として定義しない。
- 札幌市の狸小路のように老舗を2階に移転、路面店は新規創業者による店に変更。
- 大通公園のような**公園をベースとした地区づくり**。
- 駅前に**学校を移転**。駅前地区が学生の街となるように。
- 地域の強みを活かす。例えば、気候を活かす、夏でも雪があるなど。

〈導入機能に関すること〉

- **公共交通の待ち時間**等、滞在できる場。人が**気軽に集まれる場**、居場所となる空間。目的なく**滞在しても違和感のない空間**。

- ホール機能が整備されるのであれば、隣接した駐車場が必要。
- 駅やバスとのスムーズな乗り換えが可能となるしかけ。
- 地域性を感じられる機能。滝川の魅力等。
- 持続性のある機能で流行に左右されないものが必要。
- 歩行空間の整備。一方で、車社会であることから駐車場。
- 市の機能集約。
- ビジネスホテル

滝川駅前商店街振興組合との意見交換

令和 6 年 6 月 14 日 18:00~19:00

〈導入機能に関すること〉

- 駅周辺にちょっとした食料が買えるところがあると良い。
- コンビニ、カフェがあると良い。
- 子どもが室内で遊べる場所があると良い。
- 老人が集まれる場所があると良い。
- 子どもが豪雪地帯の雪を楽しめるような仕掛けがあると良い。

滝川商工会議所青年部との意見交換

令和 6 年 7 月 3 日 18:30~17:30

〈導入機能に関すること〉

- 旧トピアは駐車場にしてはどうか。(100 台では少ないと思う。)
- スポーツジムは必要ない。
- 大人の利便性だけでなく、子どもが集まる場所。

〈その他〉

- 運営を民間でやってくれると良い。(D B Oが良い)
- 駅周辺整備事業に関する周知の工夫が必要。
- 道路整備も併せて行ったほうが良いのでは。
- ホールがなぜ必要かという説明があっても良いのでは。
- 起業への補助等、後押しがあっても良いのでは。
- プロスビルも何とかしてほしい。
- アーケードも限界がきている。

滝川市内小中学校 PTA 役員との意見交換会

令和 6 年 7 月 9 日 18:30~20:00

〈導入機能に関すること〉

- 色々な意見交換会に出席しているが、ちょっとした飲食、カフェなど構想に書かれているものに大体はまっているイメージ。
- 民間のホテルがあったら良い。
- 子どもたちが集まれる・入れる場所が必要。
- レンタルスペースがあると良い。
- 学生が勉強できるスペースがあると良い。
- 緑の芝が駅側にあるが、野外イベントを施設の中からも見えるようにすると良い。
- ビアガーデンなど毎週イベントがやっていると良い。
- 部活動の練習ができるようなホールだと良い

〈その他〉

- イベント時、道路を通行止めにする必要も必要。
- 民間が運営する方が他自治体を見ても成功している。

滝川消費者協会との意見交換会

令和 6 年 7 月 12 日 14:00~15:00

〈導入機能に関すること〉

- 施設が大きいのに駐車場が小さいと思う。
- 高齢者でも行けるような施設にして欲しい
- バスの待合所がない。また、待っている間に使えるところもない。

〈その他〉

- 滝川の市民だけでは賑わいにならないと思う。
- 旧バスターミナルから渡る道路は危ないと思うので対策が必要。
- 他自治体に負けない何か、他がやっていないものややって貰いたい。

導入機能 に関する 主な意見

- 駅前という立地からバスや JR 利用時における待合空間として利用できる"居場所"。
- 滞在時の利便性向上のため、カフェや飲食といった商業機能。
- それぞれが自由に過ごすことのできる空間、かつ、滞在していても違和感のない快適性の高い空間。

資料3 民間活力導入可能性調査（民間事業者プレヒアリング）

調査概要

調査時期：令和6年5月9日（木）～ 令和6年5月21日（火）

調査方法：対面調査

対象事業者：6社（A：ホール運営4社、B：子ども向け施設運営1社、C：イベント企画1社）

結果概要

質疑内容		質疑対象			ヒアリング結果（主な意見）	
大項目	小項目	A	B	C		
本事業や滝川駅周辺地区に関する興味・関心	本事業への参画意向の有無	○	○		5社のうち、3社が「魅力的」、2社が「どちらでもない」と回答した。（類似施設の実績によるノウハウを活かすことができるため、立地条件も良く滝川のシンボリックな施設となるため）	1
	滝川駅周辺地区の立地条件や周辺環境に対する印象	○	○		5社のうち、2社が「魅力的」、2社が「どちらでもない」、1社が「あまり魅力を感じない」と回答した。（市民に認知してもらいやすい、駅前エリア全体の活性化につながる、立地や周辺環境はそれほど重要でない）	
滝川市・中空知地域でのイベント開催需要について	滝川市及び中空知地域での興行開催需要に関する意見			○	旭川と商圈が重なることが想定されるものの、需要と供給がマッチすれば興行を誘致することは可能。	
施設内容について	ホールの仕様に 関する意見	○		○	【席数】 - 商業利用の場合、約1,000席以上なければ採算が取れないが、市民利用であれば300～700席程度でよいと考えられる。 【席の仕様】 - 音響の質の確保のためには固定席が良い場合もあるが、使用する楽器のジャンルにより適切なホール形状は異なる。 - 可動席は、出演者側からの幅広い要望に応えられるほか、座席撤去時に様々な用途で柔軟に利用できる。可動席とする場合には、1脚ずつ並べずに済む電動式可動席が良い。 【駐車場】 - 駐車台数の不足が懸念されるため、興行開催時のみ臨時駐車場を用意するなどの対策を行うべきである。 【必要な施設・設備】 - ホール以外の機能の利用者も考慮すべきである。 - 客動線、スタッフ用の裏動線、及び荷物搬入の動線など、興行開催時の人や物の流れに配慮した施設設計画が必要である。 - 特殊な設備はイベント企画者側で用意できるケースが多いため、ホール設備を最低限として、代わりに利用料金を抑えた方がよい。	2
	子ども向け施設に関する意見		○		- これまでの実績から、施設規模は500～600㎡、ターゲットは0歳～小学校低学年程度が想定される。 - イベントの開催等で柔軟な使い方ができるスペースがあると良い。	3
	ホール及び子ども向け施設以外の機能に関する意見	○	○	○	- カフェ・飲食店やスポーツジムは、条件次第では独立採算で運営できる可能性がある。 - コンビニは、事業予定地の現況を踏まえると出店の可能性が低い。 - 子ども向け施設との親和性が高い図書コーナーは、導入検討の余地がある。 - 会議室は間仕切りできる構造が良い。 - 貸室等については、午前・午後・夜間などの区分貸しではなく、時間貸しの方が、手間はかかるが効率良く場所を利用できると考える。 - ギャラリーは他のスペースを活用する形も考えられる。	4

質疑内容		質疑対象			ヒアリング結果（主な意見）	
大項目	小項目	A	B	C		
	施設の複合化に関する意見	○	○	○	- チケット確認が必要となるホール利用者とその他の機能の利用者との動線分離や、騒音クレームなどに配慮した施設計画とすべきである。 - 子ども向け施設は、両親や祖父母等と一緒に楽しむことができるため来訪者の満足度が高く、利用前後に家族で食事等をするケースが多いことから、まち全体の活性化につながると言える。 - 施設のコンセプトを定め、導入機能がある程度絞った方が良いのではないかと。	5
公共との役割分担について	ソフト的取組の実績と本事業における取組可否	○			【ホールへの興行誘致】 実績あり：4社、事業における取組可否：取組可：2社 【屋外広場等でのイベント開催】 実績あり：2社、本事業における取組可否：取組可：2社 【キッチンカーの誘致】 実績あり：2社、本事業における取組可否：取組可：2社 【その他】 貸室で行う教室や、自社企画のイベントなどを実施可能	6
	希望する事業範囲	○	○		- SPC 立ち上げや運営に余分な手間がかかるため DBO が望ましいが、事業規模が大きければ PFI でも参画可能。 - 運営者の中でもカバーできる事業範囲に差があるため、複合施設を単独で運営できる事業者は限られる。	7
	希望する事業期間	○	○		- 人材確保の面から長期の方が望ましいが、人件費や物価の上昇を考えると、先の見立てが立たずリスクが大きい。 - 事業期間に関わらず、人件費や物価の上昇率等を踏まえて指定管理料を見直すスキームが必要。	8
	市へ求めること	○	○		- 施設に反映しなければならない情報は、事前に共有してほしい。 - 自治体の所管が異なる機能が入る場合、設計・建設段階、管理運営段階ともに窓口を一元化してほしい。	9
事業参画における条件・意見・課題等	想定される配置人数	○			施設自体のつくり、導入機能、管理運営仕様等によるが、類似施設の配置人数を踏まえると 10 名程度は必要と想定される。	10
	想定される委託費	○	○		利用料金だけでは賄えないと想定されるため、完全な独立採算は難しく、サービス購入料や指定管理料が必要である。	
	条件または課題と考えられること	○	○		【条件】利用料金制であること、事業者の裁量の確保、施設全体の一体運営など 【課題】人材確保及び定着など	

意見のポイント

1	民間事業者の参画意向が確認できた。また、立地条件についてもネガティブな意見は少なかった。
2	採算が取れる興行を行うには約 1,000 席以上の規模を必要とするが、ホールの主目的を定め、コンセプトに沿った施設計画を行うことが肝要。
3	子ども向け施設については、小学校低学年までがメインターゲットとなり、他事例での実績を踏まえて 500～600 ㎡程度が適当。
4	カフェ・飲食店やスポーツジムは可能性が確認されたが、コンビニの出店可能性は低いことが確認された。
5	日常的に稼働率の高い子ども向け施設については、両親や祖父母も含めて利用するため、まち全体の活性化に寄与することが期待できる。
6	民間による興行誘致やイベント開催も他施設の実績を踏まえ実施可能との回答が確認された。
7	PFI とするには一定の事業規模が必要。
8	長期での運営委託では、人件費や物価上昇に対応できるスキームが求められる。
9	市所管が異なる機能が入る場合のは設計・建設段階、管理運営段階ともに窓口を一元化してほしいといった、複合施設ならではの課題が確認された。
10	サービス内容のバランスを考慮した適切な人員配置計画とサービス購入料の設定が必要。

〈今後に向けて〉

- 独立採算で成立する付帯事業については、今回提示した用途以外も含めて民間事業者の提案を求めることの想定が必要。
- 民間活力導入の効果（VFM）算定のため、モデルプランを提示した上で、想定される人員配置や設計・建設・運営にかかる費用の削減率、適切な事業手法等の意見を収集することが必要。

資料4 民間活力導入可能性調査（公募型サウンディング調査）

調査概要

調査時期：調査時期：令和6年9月2日（月）～令和6年9月30日（月）

調査方法：紙面調査

対象事業者：12社（建築設計2社、内装設計・施工2社、建設2社、運営2社、統括管理等3社、まちづくり1社）

質疑内容			ヒアリング結果（主な意見）
大項目	中項目	小項目	
モデルプランについて	再生拠点全体における機能配置		- 駅・駅前交流施設・街が一体的になると良い。 - 駅前道路の廃止検討が可能であれば、駅への動線がつながり、より再生整備事業として魅力あるものになると感じる。
	（仮称）駅前交流施設	配置・ゾーニング・動線	- 大きなスペースは、用途を限定せず、多目的にフレキシブルに利用できる工夫が必要。 - 施設内の人々は街側に出たくなる、街側にいる人は施設に入りたくなる仕組みがあると良い。 - エレベーター設置を検討出来たら良い。 - カフェ等の滞在空間は屋外広場に面して設けた方がいい。 - ホールにおける開場前の客だまりと、終演後の退場動線が十分確保されたゾーニングが望ましい。 1階は施設の顔として、開かれたロビー及び賑わいや交流を生むスペースとした方が良い。 - 野外交流広場と駅前交流施設との一体感を考慮すべき。
		各機能	- ホールを利用する団体・誘致をしたいイベントに合わせて仕様・性能等検討が必要。 - 災害時などの避難場所としての活用有無も含めて、交流施設におけるホールの使われ方を整理することが必要。 - 会議室・スタジオは、専用利用の頻度やニーズを想定し規模などを決定する必要がある。専用時間が少なければ、その時間帯を開放して有効活用できる。 - 会議室は、小さく仕切って多目的に同時利用できる工夫があると良い。 - 多目的室は、有料スペースとするか無料スペースとするかの考え方により、規模や設備の考え方も変わってくると考えられる。
	（仮称）駅前野外交流広場		- 駅前広場との一体感を創出するデザインが望ましい。 - 駅前、ベルロード、多目的室とのつながりを創出するため、駅前道路の方向性を踏まえた配置検討が必要。一時的に道路を使用して歩行者空間にしたり、可能なら廃道も検討できると良い。 - 野外イベント時に利用できる電源・水道等の設置が必要。 - 冬期間利用に備え、除排雪、堆雪スペース、ヒーティング等に関する検討が必要。 - 積極的に市が関与するイベントを開催し、エリアの認知度を高め、人に来てもらう取り組みが必要。
	（仮称）駅前市民駐車場		現在の想定台数では、駅前交流施設のホールや多目的室等でのイベント開催時に不足することが懸念される。余裕ある台数整備が必要。
	（仮称）交流広場・（仮称）まちなか自由空間		- ポケットパークの一部にコンテナハウスやトレーラーショップ等による商業展開。 - 野外交流広場と連携したソフト事業の展開。
	民間収益施設について		
業務内容について	業務範囲		- 事前調査業務が含まれる場合、事前調査の結果により事業コストに大きく影響があると考えられる。 - 修繕・更新業務については、老朽化に伴う部分、事業期間に伴う機器更新など、明確に業務範囲を示す必要がある。
	既存建造物の解体		解体工事含め一括発注し、効率の良い施工計画を立案することで、事業費縮減・工期短縮につながると考えられる。

質疑内容			ヒアリング結果（主な意見）
大項目	中項目	小項目	
事業手法について			（駅前交流施設） ・行政の負担軽減やコスト削減からも、DBO 方式など、PFI 手法によらない PPP 手法の採用が望ましい。 ・SPC の組成について、DBO 方式等の場合は組成を必須にする必要はないと考える。 ・事業期間について、運営期間は、運営事業の安定性を考慮し、一定程度長期間確保されることが望ましい。事業者選定期間は、4～6 ヶ月、運営期間は 10～15 年程度が望ましい。 （交流広場・まちなか自由空間） ・公共による整備（物件取得、解体、ポケットパーク整備）が実施された後、広場の全体や一部の運営主体として民間事業者が関与することが望ましい。
リスク分担について			・物価変動リスクについて、昨今の物価高騰、人材不足、人件費高騰を踏まえる必要がある。
事業費について			・PPP 手法の採用で、従来方式よりもコスト削減が見込めると考えられる。
参画意向・参画に際しての課題について	参画意向		・是非参加したい…3 社、条件次第では参画する…9 社（条件：事業スキーム、事業体制、収益施設の条件等による）
	参画する場合の役割 ※複数回答可		・代表企業として参画予定…5 社、構成企業として参画予定…7 社、協力企業として参画予定…4 社、その他…2 社（現況ではまだ判断できない）
	本事業で担当する業務範囲 ※複数回答可		・設計…4 社、建設…4 社、デベロッパー…1 社、金融…0 社、運営管理…5 社、その他…3 社（統括管理、SPC マネジメント、商業デベロッパーとしてのテナント誘致等）
	参画検討にあたり、開示が必要な資料・データ		・ボーリングデータ、測量図、既存建物資料、たきかわ文化センターにおける過去の利用実績・事業の実績

〈民間収益施設の導入可能性〉

- ・コンビニエンスストアについては、店前に駐車場（専用）を必須としている現状からも、（仮称）駅前交流施設敷地内の整備は難しい。
- ・民間収益施設については、立地条件等からも実現性の高い積極的な提案や参画意向はなく、独立採算も見込まれず、単独出店の可能性は低い。一方、DBO 方式による事業において、運営事業者との連携による出店の可能性はある。

〈事業手法・参画意向及び条件〉

- ・（仮称）駅前交流施設、（仮称）駅前野外交流広場については、PPP 手法のうち、DBO 方式が望ましいとの意見があり、参画意向もあることから実現の可能性がある。
- ・（仮称）交流広場、（仮称）まちなか自由空間については、公共によって物件取得、解体、整備を実施しなければ、民間事業者による参画の可能性は低い。

〈今後に向けて〉

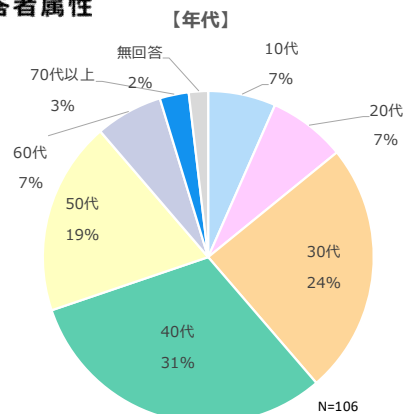
- ・引き続き民間事業者との対話を実施しつつ、民間事業者の参画を促すような検討が必要。
- ・事業手法の選定にあたっては、管理運営に必要な費用も含めた全体事業費による比較検討のほか、運営によるサービス水準等も考慮した上で、選択することが必要。

資料5 Web アンケート

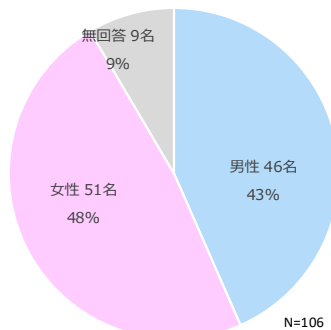
【実施時期】 令和6年9月9日（月）～令和6年10月11日（金）

【意見数】 106件

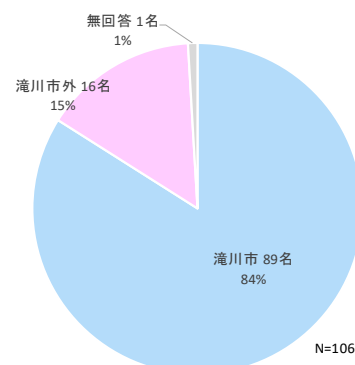
回答者属性



【性別】



【居住地】



< 1. 施設利用に関する質問 >

あなたは、新たに建設される駅前交流施設や駅前野外交流広場において、どのような活動や利用をしてみたいと思いますか？
 （例）・ホールで吹奏楽の練習がしたい ・交流ロビーで勉強したい ・交流ロビーと野外交流広場が一体となったイベントをしたい など

～主な意見概要～

【イベント】

- 若者から高齢者まで多世代が楽しめるイベントや、音楽・スポーツ・子ども向けの体験活動などを通じて交流できる場を求める声が多くあります。

【子どもの遊び場・キッズスペース】

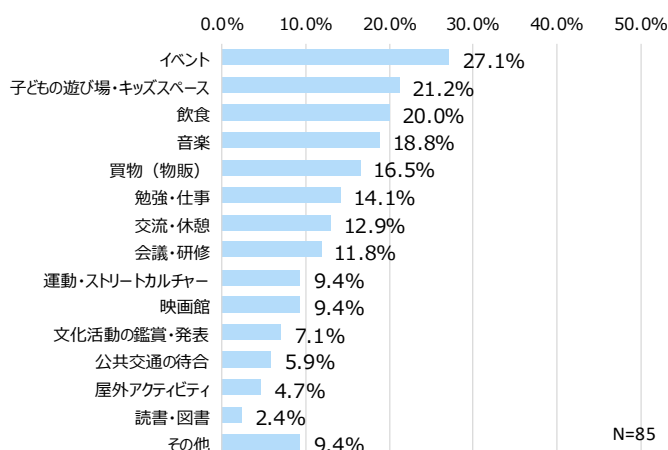
- 年中通して子供が安全に遊べる室内施設やイベント、フリースペースの必要性、地域内での買い物・カフェ併設の要望が多くあります。

【飲食】

- 休憩や待ち時間に利用できるカフェや軽食スペース、子連れでも安心なカフェ、地元特産品の提供やイベントなど、気軽に利用できる飲食施設の要望が多くあります。

【音楽】

- 地域住民が利用できる音楽ホールの必要性、特に吹奏楽や合唱、バンド活動の場を求める声が多く、学生向けの練習スペースや演奏会の開催に適した施設が求められています。



< 2. 施設づくり、運営アイデアに関する質問 >

駅前交流施設が「私たちの居場所」として、常に賑わいや交流が生まれ、皆さんが気軽に行ける、行きたくなる場所、居心地のいい空間になるためには、どのような工夫、施設運営がされていると良いですか？（空間づくり、施設運営のアイデア等）

（例）・まちなかイベントの拠点 ・Wifi 環境の整備 ・野外広場とロビーの一体化 ・BGM が流れている ・ロビー内のプライベート空間確保 ・学校の課外活動やクラブ活動の拠点 ・学校祭による利用 など

～主な意見概要～

【設備・備品】

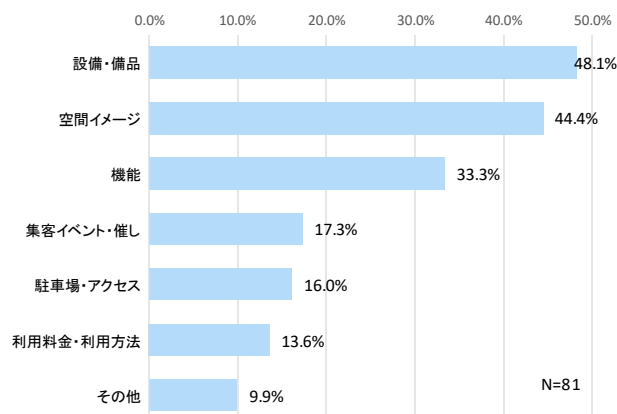
- 広い駐車場、Wi-Fi、清潔で使いやすいトイレ、授乳室、待合スペース、災害時の備蓄や避難スペースなどの要望が多く、利用者が快適に過ごせる充実した設備を求める声が多くあります。

【空間イメージ】

- 誰でも気軽に利用できる開放的かつ利便性の高い空間を求める意見が多く、自然光や観葉植物を取り入れたデザイン、子供の遊び場、カフェスペース、アートや創作ができるスペースなど快適な空間を希望している意見が多くあります。

【機能】

- 駐車場や交通手段の整備、防災機能の付加、イベントホールや多目的スペース、カフェや Wi-Fi などの利便性のある設備が求められており、多世代が快適に利用できる施設づくりへの要望が多く見られます。



< 3. 駅周辺地区全体に関するご質問 >

「歩きたくない まちづくり」を推進するためには、どのように整備や工夫が必要だと思いますか？（ベルロードを歩きたくなるアイデア、工夫等）

（例）・交流広場から駅前野外交流広場で実施されるイベントが見える ・週末の歩行者天国 ・まちなか自由空間と交流広場によるキッチンカーイベントの同時開催 ・まちなか自由空間と交流広場における特色の差別化 ・スタンプラリー など

～主な意見概要～

【イベント・催し】

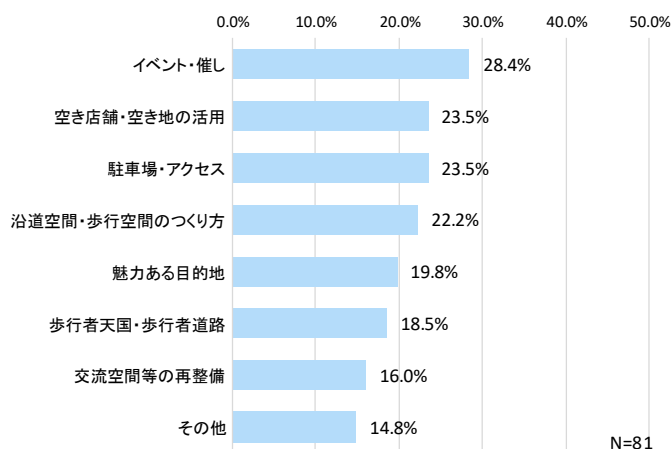
- ・ベルロードを利用した歩行者天国やキッチンカー、子供を中心としたイベントなどの定期開催などの意見が多いです。

【空き店舗・空き地の活用】

- ・チャレンジショップや飲食店の開業資金支援、無償貸与を求める意見が多く、地域の集客を図るための施設整備や活気を取り戻すための工夫が必要とされています。

【駐車場・アクセス】

- ・無料または低価格の駐車場の設置、駅からのアクセスを良くするための歩道整備、家族連れが訪れやすい環境作りが求められています。また、イベント時の駐車場確保の重要性も指摘されています。



< 4. その他全般に関するご質問 >

その他、基本構想や中間報告、駅周辺整備事業全般に対するご意見やアイデアがありましたらご記入ください。

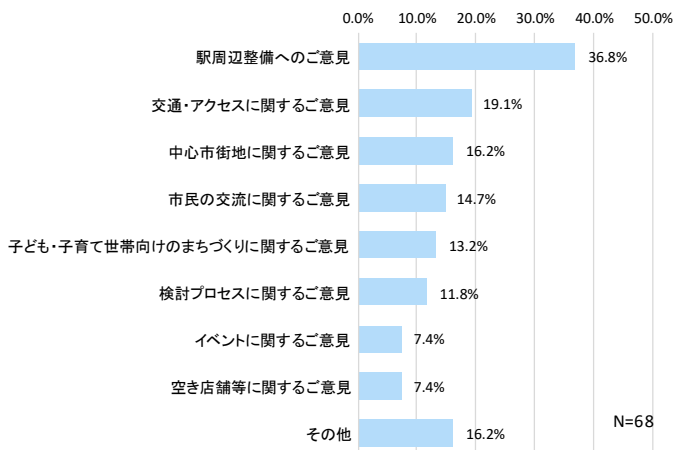
～主な意見概要～

【駅周辺整備への意見】

- ・駅周辺の商業施設や文化施設の充実、観光地の連携、活気ある空間づくりの必要性が指摘されています。

【交通・アクセスに関する意見】

- ・駐車場不足や交通渋滞対策、アクセス改善、観光周遊バスの導入が求められています。



滝川駅周辺地区再生整備基本計画
(原案)

令和 7 年 2 月
滝川市

〒073-8686
滝川市大町 1 丁目 2 番 1 5 号 滝川市役所 6 階
TEL : 0125-74-4018 (直通)

※ 滝川駅周辺地区再生整備基本計画については、令和 7 年 1 月 20 日の政策決定において、滝川駅周辺地区再生整備事業を一旦停止したことから、原案に留め、令和 6 年度末の策定を見送ることとしました。
なお、事業再開時においては、必要に応じて本原案の見直し検討や各種手続きを実施した上で、策定を目指すこととします。